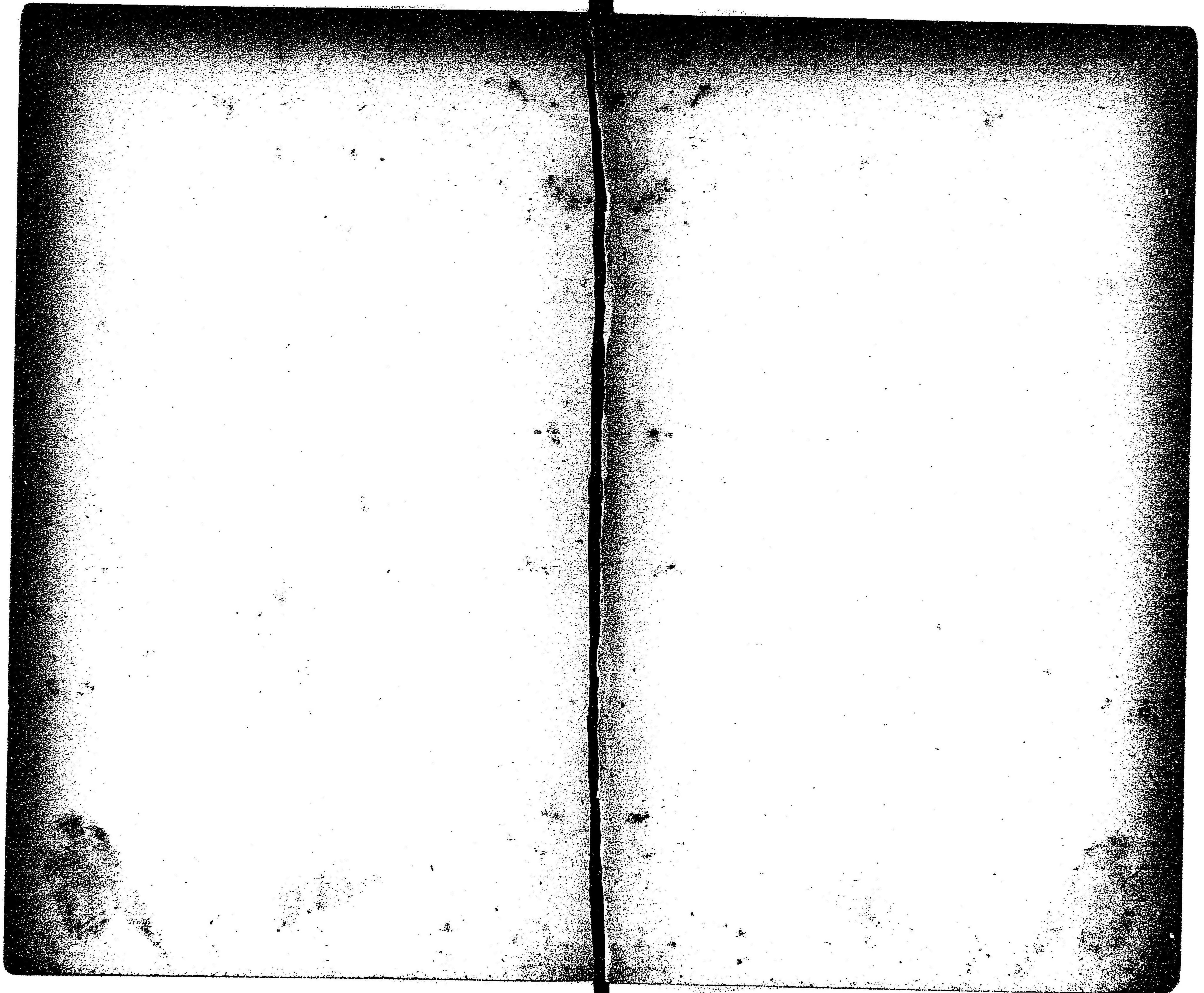


319  
204

住  
民  
地  
及  
森  
林  
之  
戰  
鬪  
下  
卷



軍需商會編纂部著

住  
民  
地

及  
森  
林  
之  
戰  
鬪

下  
卷

明治  
43. 2. 5  
丙交

發  
行  
所

軍需商會出版部

# 住民地及森林之戰闘下卷目次

## 第四章 戰 闘

### 總 論

戰闘ノ段落

第一節 緣端ニ達スル迄ノ戰闘

(甲) 攻撃戰闘

(乙) 防禦戰闘一般ノ經過

第二節 緣端ノ戰闘

第三節 内部ノ戰闘

總 論

(甲) 森林内部ノ戰闘

一  
一  
一  
四  
七  
四  
四  
一六  
一六  
二一

二

- (一) 森林内部ノ戦闘ト一般戦闘トノ差異……………二二
- (二) 攻守兩者ニ攻勢的動作ノ要求……………二三
- (三) 攻守兩者内部戦闘ノ取捨……………二三
- (四) 内部ノ戦闘ニ於テ攻守兩者ノ恪守スヘキ要件……………二五
- (五) 協同動作……………二六
- (六) 獨斷專行……………二六
- (七) 各指揮官ノ動作……………二七
- (八) 豫備隊ノ戦闘加入……………二八
- (九) 攻撃部署、隊形及攻撃前進……………三〇
- (十) 複廓ノ攻撃……………三〇
- (十一) 森林内部ノ戦闘ニ於ケル守者ノ動作……………三三
- (十二) 森林内部ノ戦闘ニハ捕虜多シ……………三三

- (乙) 村落内部ノ戦闘……………三五
- (伊) 村落内部ト森林内部トノ戦闘法ノ差異……………三五
- (呂) 攻者支撐點タル村落(森林)ヲ奪取スルヲ要スルトキト然ラサルト  
キトノ戦闘法……………三五
- (波) 村落戦闘ニ於テ複廓ノ戦闘ノ例證……………三六
- (仁) 村落奪取後ノ處置……………四二

第四節 退却及追撃……………四四

- (甲) 攻者……………四四
- (乙) 守者……………四五

第五章 大ナル住民地又ハ森林ノ出口ニ對スル戦闘……………四七

- (甲) 此局地ノ利害……………四七

三

(乙) 守者ノ戦闘動作……………五〇

(丙) 攻者ノ戦闘動作……………五〇

第六章 市街戦……………五三

第七章 日、獨、奧、佛、英ノ規定……………五五

住民地及森林之戦闘目次終

住民地及森林之戦闘 下卷

第四章 戰鬥

總論

○戰鬥ノ段落 ○村落又ハ森林ニ於ケル戰鬥ハ之ヲ四段落ニ分ツヲ適當トス即チ  
 緣端ニ達スル迄ノ戰鬥

緣端ノ戰鬥

内部ノ戰鬥

追撃又ハ退却

是ナリ其他出口(守者ノ爲ニハ入口)ニ於ケル戰鬥アリ以下順ヲ追ヒ之ヲ論究セントス

○元來村落又ハ森林ノ戰闘ハ其周縁ノ與奪ヲ主ト爲スモノニシテ攻者カ其成功ヲ全クスヘキ第一ノ要件ハ準備砲撃ニ在ルモノトス

基本戰術講授録ニ曰ク「某論者ノ言ニ曰ク林縁ハ森林ノ主ナリ故ニ森林戰ハ林縁ノ争ヒナリト又昨年(自註。明治二十九年)迄行ハレタル我操典ニモ此論旨ヲ記載セリ夫レ然リ豈ニ夫レ然ランヤ予ハ謂ハント欲ス林縁ヲ主トスル森林戰ヲハ勉メテ避クヘシ唯森林ハ森林外ニ於テスル決戰ノ爲ニ依頼點ト爲ルヘシ其理由ハ森林ハ攻者ニモ守者ニモ共ニ利ヲ與フル事少ナクシテ弊害多キヲ以テナリ而シテ其害タルヤ軍隊ノ最モ忌ムヘキ指揮ノ困難及兵力ノ集結、進退運動ノ至難ナルニアラスヤ」ト實ニ然リ當時ノ狀況之ヲ許セハ村落又ハ森林ノ戰闘ハ之ヲ避ケ迂回等ノ動作ニ依リテ戰ハスシテ敵ヲ退却セシムルヲ最良トス然レトモ本書ノ研究ハ守者ハ其任務上村落又ハ森林ヲ防守スルヲ要シ攻者ハ之ヲ攻撃スルヲ要スル場合ヲ立前トシタルモノナルコトハ讀者ノ深ク肝銘セラレンコトヲ望ム

○守者村落又ハ森林ヲ支撐點トシテ占領スル場合ニ於テ攻者ハ成ルヘク決戰ヲ村落又ハ森林内

ニ於テスル事ナク其側方ニ於テ求ムルヲ自然トス(日、步、操、百〇一ノ二)然レトモ其戰線ヲ亦過大ニ側方ニ延長スルハ適當ナラス村落又ハ森林ノ外部ニ於テ勝利ヲ得タル者ハ其内部ニ於テ交戦セル敵ヲシテ孤立ニ陥ラシメ已ムヲ得ス其位置ヲ棄テ、退却スルニ至ラシムルコトヲ努ムヘシ然リト雖攻者ハ内區ノ一部ヲ占ムルニ至リ始メテ側方ニ於テ決戰ヲ求ムルヲ要ス

(例)一、千八百七十年セダン附近ノ小市街バヅアイユニ於テバイエルンノ二軍團佛兵ト交戦スルコト稍々久ク此時ニ方リ普軍ハバイエルン軍ト力ヲ協セ其地ノ側方(北方)ニ於テ佛軍ノ陣地ヲ略取シ遂ニ戰闘ノ局ヲ結ヘリ

二、千八百十三年ライプチヒ附近ミヨツケルンニ於ケル戰闘ノ決モ亦殆ト之ニ類セリ  
 三、千八百七十年十一月二十八日ポーンヌ、ラ、ローランド附近ニ於ケル戰闘ト部落外ニ於テ攻者ノ不利ヲ以テ局ヲ結ヘリ即チ該村落附近ノ戰闘ハ非常ニ激烈ヲ極メシモ戰闘ノ決ヲ結ハス然ルニ獨軍ハ部落外ニ於テ佛軍ノ左翼ノ攻撃ヲ擊退スルニ至リ戰闘ノ局ヲ結ヘリ

○守者戰闘ノ目的唯時間ノ餘裕ヲ得ルニ在ルトキハ縁端ニ軍隊ヲ配布シ退却ニ際シ危險ニ陥ラ

ス且退路ヲ中斷セラル、カ如キコトアルヘカラス若頑強ニ抵抗ヲ爲サント欲スルトキハ其緣端ヲ奪取セラルルモ尙其内部ニ於テ戦闘ヲ繼續シ得ル如ク空地道路等ノ近傍ニ在ル家屋ヲ守備シ又兵力ヲ集結シテ攻勢ニ轉スルコトヲ努ムヘシ

### 第一節 緣端ニ達スル迄ノ戦闘

#### (甲) 攻撃戦闘

○如何ニスレハ攻撃奏功スルヤニ就テハ固ヨリ一定不變ノ法則ヲ立ツヘカラサルモ其成算最も多キハ敵陣地ノ周圍ヨリ砲撃ヲ行フニ在リ然レトモ唯猛烈ナル砲撃ノミヲ以テ守兵ヲ驅逐シ又ハ内部ノ戦闘ニ於テ之ヲ擊退センコトハ望ムヘカラサル事ナリ

(例) 日露戰役奉天會戰中三十八年三月七日日軍歩兵第五旅團ノ千洪屯ヲ防禦スル露軍ニ對スル攻撃

(例) *Renme la Rolande. Loigny 及 St. Privat*

R 書ニ曰ク「惻隱ノ心ハ攻者ヲシテ村落ニ向ツテスル射撃ヲ停メシムルモノニアラス將官 *Faidelherbe* カ其 *Bapume* ヲ襲撃セサリシ所以ノ理由トシテ「其身佛國人トシテ佛國ノ市邑ヲ射撃スルニ忍ヒサリシ」ト云フハ殆ント信スヘカラス」ト

○迂回ハ概テ偉効ヲ奏スルモノトスR 書ニ曰ク「殊ニ十月三十日ノ *Tu Bourget* ノ迂回ノ如キハ若村落占領部隊ノ退路ニ及フヲ得ハ其奏功蓋シ著大ナリシナルヘシ元來正面攻撃ハ攻者既ニ緣端ニ侵入後ト雖尙守兵ヲ屈服スルコト能ハサルコトアリ然ルニ迂回ハ守者ノ退路ヲ脅威シ其抵抗力ヲ奪フニ資スルコト多シ」ト

(例) *Jugel* 攻撃ノ時(千八百六十四年二月三日) 埃國二大隊 *Jugel* ニ突入シ得タルモ氣力全ク消盡シ又一步モ進ムコト能ハス *Arguen* 聯隊ノ一中隊突然嘽馬兵ノ側面ニ現出シ急射撃ヲ爲シ且突撃スルニ及ンテ嘽馬兵大ニ死傷シ初メテ該村落ヲ棄テ退却セリ此際埃國中隊ハ兵卒一名ヲ失ヒタルノミ



○攻撃點ノ選定ハ一般ノ要領ノ外特ニ注意スヘキモノアリ即チ周圍ノ突出部或ハ敵ノ守備セサル部及村落ノ入口等はナリ

○村落又ハ森林中ノ一部ニ突入シテ之ヲ奪取シ堅固ニ之ヲ據守シ而シテ後縁端ニ於テ戦闘準備ヲ整ヘ更ニ第二點ニ侵入スルノ地歩ヲ爲スハ内部戦闘ニ於ケル成功ノ端緒タリ之カ爲ニハ最初先ツ側面ニ在ル立脚地ヲ得之ヨリ縁端ノ一部ニ突入スルヲ要ス

(例)千八百七十年十二月十五日第二十聯隊第二大隊ノ *Mellsoort* 森林ノ攻撃ハ其最モ巧ナルモノニシテ雷ニ側面ヨリ突入スルノミナラス別ニ一部隊ヲ進メテ森林ノ後端ヲ側面ヨリ射

撃スルニ便ナル地點ヲ占領セシメ以テ退却スル守兵ニ追撃射撃ヲ施行セシムル如クセリ  
攻者林縁ヲ奪取シタル後林内ニ於テ展開スルトキハ攻守其利害ヲ同クスルヲ以テ戒ムヘキ事タリ守者退却スレハ攻者ハ速ニ前進スヘシ其後ノ動作ハ次ニ述フル林内ノ戦闘ノ部ヲ見ルヘシ

○元來守者ハ勉メテ内部ノ戦闘ヲ持久シ豫備隊ニ進出ノ時ヲ得セシムルヲ圖ルモノナリ故ニ前已ニ述ヘタル如ク攻者ハ勉メテ内部ノ戦闘ヲ避ケ其守兵ヲシテ孤立セシメ其周圍ノ地ヲ占領シ

テ守兵ニ迫リ之ヲシテ自ラ其陣地ヲ棄テシムルコトヲ勉メサルヘカラス

R 書ニ曰ク墺國第四軍團ノ *Königgrätz* ニ於ケル攻撃ニ於テ其旅團逐次ニ *Swiepp* 林内ニ突入セシヨリハ一舉ニ *Maslowed* 林ヲ經テ *Benassek* ニ進マシムルニ如カス森林(普兵ノ *Niederwald* 林及 *Swiepp* 林ニ於ケルカ如キ)又ハ村落(*St. Pirvas* 及 *Beanne la Rolande*)ヲ攻撃スルノ止ムヲ得サルコト固ヨリ多シ然ルトキハ砲兵盛ニ展開シテ先ツ之ヲ準備スヘク又既ニ縁端ヲ奪取スルノ後ハ之ヲ貫通シテ前進スルヲ要ス若シ能ハスンハ少クモ其地ヲ固守シテ守者ノ増援兵ノ來援ヲ妨止シ且支撐點外ニ於ケル戦闘ノ經過ヲ待ツヘシ

#### (乙)防禦戦闘一般ノ經過

○凡村落及森林ノ直接防禦ニ任スル軍隊ハ先ツ其諸部隊ヲシテ自己ノ守備スヘキ陣地及交通路ノ状態等ヲ詳知セシムルヲ要ス

○指揮官ハ先ツ敵ノ攻撃方向ヲ詳悉スル外斥候ヲ出シテ廣ク搜索スルヲ要スルコト一般ノ場合ニ同シ

○普通ノ陣地ニ在リテハ敵兵未タ現出セサル間ハ各隊ハ速ニ陣地ヲ占領シ得ヘキ準備ヲ爲シテ待機陣地ニ集合シ必要ノ監視兵ヲ前方ニ出シテ警戒スルヲ以テ足レリトシ其他ハ後方ニ集結シ置クヲ常トス然レトモ村落又ハ森林ノ如キ支撐點ニ於ケル其突出部又ハ入口ハ守者ノ弱點ナルヲ以テ攻者ト此部ヨリ進入スルヲ企ツルモノトス故ニ此要點ハ各地區ニ豫メ之ヲ占領セサルヘカラス

○元來村落及森林ニ在リテハ遇早ニ兵力ヲ展開スヘカラス何トナレハ村落及森林ハ連絡確實ヲ期シ難ク命令ハ適時到達シ難ク又運動困難ナルヲ常トス故ニ一旦兵力ヲ展開セハ再ヒ之ヲ他方向ニ轉置シ若ハ之ヲ迅速ニ集合スルコト難ク多クハ指揮官ノ掌裡ヲ脱シ不意ニ發生スル事變ニ應ミテ適當ニ兵力ヲ使用スルコト能ハサレハナリ

○待機陣地ニ在ル諸隊ヲシテ休憩セシムル爲ニハ尙村落ノ前方ニ警戒監視兵ヲ出ササルヘカラス若敵兵攻撃ノ爲其兵力ヲ展開セシトキハ此監視兵ハ陣地ノ正面ヲ開キテ本隊ニ復歸スヘキモノトス

○敵ノ攻撃方向(殊ニ村落ニ在リテハ敵ノ砲兵カ開キタル破壊孔ハ通常攻撃點タルヘシ)ヲ察知シ得ルヤ援隊及内部豫備隊ハ其距離ヲ短縮シ赴援ノ準備ヲ爲スヘキモノトス

○守者ノ砲兵ハ敵ノ砲兵ト戰鬥ヲ交エサルヲ得策トス是レ通常其制壓ヲ免レサルモノナレハナリ此場合ニ於テハ砲兵ニ特種ノ任務即チ村落又ハ森林ノ前方ヲ側防ニ任シ攻者前進シテ接近セシトキ之ヲ撃退スル等はナリ然レトモ我砲兵能ク掩護シ攻者ノ砲兵暴露シアルトキハ優勢ナル砲兵ニ對シテモ砲戰ヲ試ムルヲ利トスルコトアリ故ニ最初ヨリ敵ト砲戰ヲ試ムヘキカ又ハ特種ノ任務ニ服セシムヘキカハ一ニ狀況ニ由ル

○彼我砲戰間守者ノ第一線ニ在リテ監視ニ任スル者及防禦設備ニ従事スル者トヲ除キ殘餘ノ密集部ハ敵砲彈ノ被害ヲ避クルカ爲ニ得ル限り敵ノ射線外ニテ村落(森林)ノ外方ニ在リテ隱蔽シ在ルヲ要ス但シ敵ノ奇襲ヲ受クルノ虞アル方面ニハ必要ナル兵力ヲ備ヘ置クヘキハ勿論ナリ

○守者ノ射擊開始ハ過早ナルヘカラス是レ速ニ其所在ヲ知ラシメ攻撃砲兵ノ好目標ト爲レハナリ然レモ敵兵戒心セスシテ前進シ大ナル目標ヲ呈スルトキ至短時間急射擊ヲ行フハ此限リニ

アラス

凡書ニ曰ク「敵兵支撐點ヨリ約六百米(自註 今日ノ火器ニ在リテハ 狀況ニ依リ千米以下ナルヘシ)ニ近ツケハ縁端ノ守兵舉ツテ

射撃ヲ開始シ内部豫備隊戦闘加入ノ準備ヲ爲シ又地障及復廊ノ守兵ハ陣地ニ就クヘキ時機ト

ス

○縁端ノ戦闘 守者ハ射撃ヲ以テ攻者ヲ撃退シ或ハ攻者現ニ陣地内ニ侵入スルトキハ銃劍ヲ揮

ツテ再ヒ之ヲ陣地外ニ驅逐セント欲シ此際最モ激烈ナル格闘ヲ生スルモノナリ而シテ守者ハ唯

猛烈果敢其後方ニ在ル内部豫備隊ヲ以テ突進シ之ニ衝突スルノ外他ニ策ナシ

○守者攻者ヲ陣地外ニ驅逐スルモ森林(村落)直接防禦ニ任スル部隊ハ之ヲ追撃シテ猥リニ縁端

外ニ前進スヘカラス何トナレハ斯ノ如ク縁端ヨリ突進シタルトキ敵ノ逆襲ヲ蒙ラハ攻者ハ守者

ニ尾シ更ニ縁端内ニ侵入シ來リ終ニ之ヲ失フニ至レハナリ元來攻者ヲ撃退シタルトキ之カ追撃

ハ外部豫備隊ノ任スル所ナルヲ以テ森林(村落)直接ノ守兵ハ唯追撃射撃ヲ以テ之カ應援ヲ爲ス

ヲ原則トス

R書ニ曰ク「林内ヨリスル逆襲ハ短急ナルヲ貴フ又決シテ遠ク林外ニ出ツヘカラス是レ孤立セル突進ハ動々モスレハ自ラ陣地ヲ失フノニ誘因タレハナリ (Würth 附近ノ Nieperwald 及 Elsasshausen ノ小林)

陣地ヨリ正面逆襲ヲ爲シテ利ヲ得タルノ例ハ「V. Fruslan 氏ノ Esrodle Balkan 作戰第二 百六十頁」Yorn=Bougarov ノ戰及 Bakar 氏ノ Bulgaria 戰第二頁五十七頁ノ Tusc-hussen ノ戦闘是レナリ○又此出撃危険ナルノ例ハ Kuhne 氏 Krisesehe Wanlung 第二ニ掲クル所ノ Skality 戰爭中 Frangera 旅團ノ進撃ヲ見ルヘシ○又佛軍 Point dujour ニリセル出撃ノ感動ニ就テハ Hönig 氏「二十四時間」第百八十六頁ヲ見ルヘシ

○地障存在シ且守者新銳ノ軍隊機ニ後ルルコトナク之ニ據リテ攻者ノ前進ヲ拒止スルトキハ其戦闘ハ彌久ノ姿勢ヲ呈スルコトアリ

(例)千八百十四年リニ村ノ戦闘ニ於テ該村ヲ貫流スル同名ノ小河ハ一地障ヲ成形セリ兩軍共ニ突撃ヲ試ムルコト數項ニ及ヒタリト雖此小河ヲ超ユルコト能ハス戦闘之カ爲彌久ノ姿

勢ヲ呈セリ

○外部豫備隊攻勢移轉ノ時機ハ攻者緣端守兵ノ最有効射界内ニ近接ヒシ時ニ在リ既ニ其緣端内ニ突入セシ後ハ複廓ノ守兵ト戦闘ヲ交エ秩序壞亂スル時ヲ可トス

R書ニ曰ク「逆襲ニ最モ良好ナル時機ハ敵方サニ緣端守兵ノ最有効射界内ニ入り其支撐點ヲ距ルコト二百五十米ニシテ一瞬中途ニ停止スルモ大死傷ヲ生スルノ時ニ在リ攻者既ニ勝ニ乘シテ支撐點ニ突入スルノ後逆襲ニ轉スルハ概ネ豫備隊ノ指揮官戦闘加入ノ時機ヲ誤ルニ起因ス又攻者既ニ複廓ノ守兵ト戦闘ヲ交エ其秩序弛解スルニ乘シテ逆襲スルトキハ勝利ヲ得ルコト多シ後者ノ場合ニ於テハ必ス其己ニ核點迄突入スルヲ待チテ之ヲ起スヲ利アリトスト」又曰ク「外部豫備隊ノ指揮官機ヲ誤ラスシテ逆襲スルニハ敵ノ斥候等ヲシテ其所在地ヲ知ラシメサルヲ要ス、支點ノ側方ニ別ニ一ノ支撐點ヲ占領シ以テ逆襲ヲ行フニ必要ナル地域ヲ存スルハ希望スヘキ事ナリト」

又曰ク「外部豫備隊ノ指揮官ハ其逆襲ヲ行フノ準備ヲ爲シ自ラ監視ニ便ナル地ニ位置シ逆襲

ノ時機ヲ候察スヘシ純然タル正面防禦ニ於テハ此豫備隊ノ好機ニ投シ正面ヨリ集團射撃ニ加ハルハ緊要ナル事ニシテ其早キニ失スルモ決シテ不利ナシト雖之ト趣キヲ異ニシ逆襲部隊過早ニ前進スルトキハ攻者ヲシテ之ニ對スルノ處置ヲ爲サシムルニ至ルヘク其逆襲晚キニ失スルトキハ守兵ノ覆没ヲ救出スルノ効アルヘキモ勝利ヲ收ムルコトハ到底望ムヘキ事ニアラス夫レ逆襲其功ヲ奏スルニハ攻者既ニ其豫備隊及側方梯隊ヲ使用シ盡シタル後ニ於テスルヲ可トス然レトモ是容易ニ知ルヘカラサル事ニ屬ス」ト

元來逆襲ハ防禦ノ姿勢ニ在ルモノ缺クヘカラサルモノナリ其眞價ヲ發揮スルニハ第一回ヲ好機トシ第二回ヨリハ毫モ奏功ナキ者トス是レ敵ハ十分警戒シテ我欺罔ニ應セサレハナリ強ヒテ之ヲ行ハンカ窘迫ヨリ出ツル者ニシテ戰勢ヲ挽回スル事能ハス多クハ我全滅ヲ免サルモノトス

(例)千八百六十六年普埃ノ戰ハラデツク附近ニ於テ埃軍ハ普軍ニ向ツテ毎回逆襲ヲ行ヒシモ普軍ハ最モ沈着ヲ以テ之ニ應戰シ遂ニ埃軍二萬人ノ内旅團長、聯隊長以下將校二百四十五人下士兵卒一萬人戰死シ野砲二十三門ヲ失フニ至レリ

最近戰役ニ於テモ其例證頗ル多シ

敵ノ攻撃ヲ受ケサル翼面ハ他翼ノ紛擾ニ對シテ之ヲ傍視スルコトナク又單ニ射撃ノミニテ之ニ應戰スルヲ以テ足レリトセス猛烈ノ前進ヲ以テ突撃スル敵兵ヲ混亂セシムルコト肝要ナリ

## 第二節 緣端ノ戰鬪

本戰ハ常ニ緣端占領ノ爲ニ生起ス換言スレハ村落又ハ森林戰鬪ノ純然タル勝敗ハ緣端ノ與奪ニ存ス是林緣ハ守者ノ爲利益ヲ呈スルモノナリ即チ守者ノ軍隊ハ之ニ據リテ敵眼及敵彈ヲ遮蔽スルヲ得レハナリ故ニ攻守兩者ハ砲兵及歩兵ノ主力ヲ此點ニ用ユルモノトス

メツケル氏曰ク本戰ハ周緣ヲ占領スルヲ主トス而シテ攻撃ノ成功ヲ全クスヘキ第一ノ要件ハ優勢ナル準備火戰ニ在リ

攻者ハ緣端ノ一若ハ數箇所ニ侵入スルヤ此ニ立脚點ヲ得ンカ爲迅速ニ後方部隊ヲ招致シ其占領ヲ確實ニセント欲シ守者ハ先ツ射撃ヲ以テ攻者ヲ擊退シ或ハ其已ニ陣地内ニ侵入スルニ至レハ

白兵ヲ揮ツテ再ヒ之ヲ陣地外ニ驅逐セント欲スルニ至リ(日、步、操、百〇四ノ二、百〇七ノ三)彼我互ニ衝突シテ終ニ格闘ト爲ル而シテ此勝敗ニ由リ村落又ハ森林與奪ノ運命ハ決スルモノトス何トナレハ攻者緣端ヲ奪取スレハ茲ニ攻守兩者ノ利害相調和スルモノニシテ守者ノ其火力ヲ逞クシ得ルハ一ニ此緣端ニ在ルヲ以テナリ

(日、步、操、百〇四ノ二) 敵兵林緣ニ侵入セハ其混亂ニ乘シ逆襲ヲ行ヒ之ヲ擊退スルコトヲ勉ムヘシ

(同百〇七ノ三) 敵兵住民地内ニ侵入セハ逆襲ヲ行ヒ之ヲ擊退スルコトヲ勉ムヘシ

林緣ニ侵入セシ部隊ハ敵ト觸接ヲ失フコトナク且速ニ隊伍ヲ整ヘ連繫ト行進方向トヲ保チ森林ノ前端ニ到達スルコトヲ勉ムヘシ但シ森林淺キ時ハ其前端迄突撃ヲ繼續スヘシ(日、步、操、百〇二)

住民地ニ侵入セシ部隊ハ敵ニ追尾シ其前端ニ到ル迄突撃ヲ續行スヘシ此際敵ノ尙保持スル家屋アルトキハ一部隊ヲ殘シ之ニ向ハシムルヲ要ス(日、步、操、百〇六ノ二)

## 第三節 内部ノ戦闘

## 總論

○内部ノ戦闘ニ於テハ攻守各利害アリ即チ左ノ如シ

- 一、攻者ハ志氣ヲ振起ス蓋シ勝ニ乘シテ侵入シタルヲ以テナリ
- 二、守者ハ地理ニ熟知ス
- 三、指揮ノ困難ハ彼我共ニ相同シ且戦闘久キニ彌レハ彼我ノ兵員ハ全ク離散シ又指揮官ノ手裡ヨリ脱スルモノトス森林ノ幅員大ナルニ從ヒ戦闘ノ計畫及指揮ハ益々困難ト爲リ之ニ伴フ所ノ弊害モ亦夥シキヲ常トス故ニ軍隊ハ部隊毎ニ密集隊形ヲ用ユルヲ緊要トス是レ其弊害ヲ若干除去センカ爲ナリ

○元來村落及森林ノ攻撃戦闘ノ勝敗ハ其内部ニ於テ決スルモノニアラス寧ロ其外部ノ戦闘經過

ニ依リテ決スルモノナルヲ以テ攻者ハ勉メテ内部ノ戦闘ヲ避クルヲ要スルコトハ前已ニ述ヘタルカ如シ若シ然ラスシテ内部ノ戦闘ニ重ヲ置クトキハ終ニ其豫備隊ヲ之ニ竭盡シテ策ノ施スヘキコトナキニ至ルヘシ

守者ハ之ト其趣ヲ異ニス即チ内部ノ戦闘ニ於テ敵ヲ支持シ以テ逆襲ノ時機到ルヲ待ツハキモノトス

○攻者村落及森林外ノ勝敗未タ決セサルニ先チ其豫備隊ヲ縁端奪取ノ爲ニ使用シ或ハ之ヲシテ村落及森林直接攻撃部隊ニ續行シ其内部ニ侵入セシムルハ失計ニシテ而モ村落ノ戦闘ニ於テ此過失ヲ犯ササルモノ少ナキモノトス

(例) Bagelles ノ戦闘ハ其最ナルモノトス

攻者此過失ヲ犯ストキハ守者ノ村落及森林外ニ在ル者ハ攻者ヲ包圍シテ撃退スルニ至ルノ不利アリ故ニ攻者未タ村落又ハ森林外ニ在ル守者ヲ撃退セサル間ハ内部ニ入ルハ策ノ拙ナル者トス之ヲ要スルニ攻者ハ戦闘自己ノ勝利ニ歸スルヲ觀破セハ其用ユヘキ兵力ヲ悉クシテ村落(森林)

ノ側方ニ進メ守者ノ外部豫備隊ヲ驅逐スルコトヲ努ムヘシ

(例) Bagelles ノ戰ニ巴華略兵若能ク此敵ヲ守ラハ第一軍團ノ爲ニ彼ノ大潰亂ト彌久ノ市街

戰トヲ省キ得シナルヘシ

守者ハ(少クモ其意決戰ヲ求ムルニ在ルトキ)之ヲ待ツヲ要セス縁端ノ戰鬪勝利ニ歸セハ攻者ヲ戰場外ニ驅逐スヘキモノトス由是觀之本戰ノ勝敗未タ決セス縁端ノ戰鬪亦其央ハナルニ方リテ守者速ニ攻勢ヲ取りテ以テ勝敗ノ決ヲ促スコトアルヲ知ルヘシ守者決戰ヲ求ムルトキハ益々然リ然レトモ村落(森林)内ノ戰鬪若攻者ノ利ニ歸セハ守者新ニ增加兵ヲ得テ形勢一變スルニアラサレハ如何トモスルコト能ハス若又守者ノ利ニ歸セハ攻者ハ新銳ノ部隊ヲ得ルニアラサレハ攻撃ノ繼續ハ得テ望ムヘカラサルナリ

R 書ニ曰ク此ノ如キ增加兵ノ來援ニ由リ不利ノ状態ニ在ル守者重テ陣地ヲ回復センコトヲ圖リ或ハ攻者新ニ攻撃ヲ再興スルコトハ一獨立戰場ナラサル村落(森林)即チ一陣地ノ支撐點タル場合ニ屢々生スヘキ現象トス大會戰間村落(森林)既ニ我有ニ歸シテ又敵ニ奪還セラレ更ニ

之ヲ奪取スルコトアルハ此ノ如キ事情ニ因ルモノトス

○攻者ハ深ク戒慎シ時機ニ先タチ決戰ヲ促スコトアルヘカラス縁端ノ戰鬪未タ其利ニ歸セサル前其豫備隊ヲ以テ敵ノ側面ニ迂回セハ往々自己ノ退路ヲ絶タルノ虞アルモノナリ是レ村落(森林)外部ニ在ル守兵ノミナラス縁端守兵未タ擊破セラレサルトキハ共ニ攻者ニ對シ得ルヲ以テ攻者此ノ攻撃ハ守者ノ夾撃スル所トナレハナリ

○攻者斷然攻撃ニ轉シ勝敗ヲ賭スルニハ先ツ戰鬪ノ勝算已ニ歸スルヤ否ヤヲ判斷セサルヘカラス敵ノ陣地中既ニ堅固ナル立脚地ヲ得サルヘカラス又敵ノ初度ノ抵抗ヲ擊破シ得タル後ナラサルヘカラス之ヲ以テ攻者ノ豫備隊ハ縁端ヲ占領スル迄ハ寧ロ村落(森林)外ニ在ル守者ノ攻勢移轉ニ對シ防守ノ地ニ立ツヲ要ス若已ムヲ得シテ攻者ノ豫備隊ハ村落(森林)ノ攻撃ニ加ハラサルヘカラサルトキハ其兵數ハ成ルヘク寡少ナルヲ可トス

○攻者ノ兩側共ニ守者ノ來襲ノ虞アルトキハ豫備隊ハ戰鬪ノ初期ニ於テハ其中央後ニ位置スルヲ可トシ然ラサレハ危險ノ顧慮アル翼後ニ接近シテ位置スヘク又戰鬪ノ初期攻者ノ側面ヲ來襲

セラルル虞アルトキハ一梯隊ヲ此翼後ニ次スル事ハ一般戦闘ノ原則ニ同シ  
 攻者ノ攻撃翼村落(森林)ノ周圍ニ向ツテ擴張シ決戦ノ期切迫シ此翼ノ危殆ニ赴クトキハ豫備隊  
 ハ地形ノ掩護ヲ受クル限リ益々其距離ヲ短縮シ以テ村落(森林)外決戦ノ際守勢的又ハ攻勢的ニ  
 之ニ加入スルノ準備ヲ爲シアルヲ要ス

○攻者綠端ヲ占領セハ其一部ハ堅固ニ之ヲ守備シテ守者ノ回復攻撃ニ備ヘ(攻者綠端ヲ占領セシトキハ此ニ立脚地ヲ占メ安ニ前進セサル)村落(森林)外ノ戦闘部隊勝利ヲ得テ前進セハ村落(森林)直接攻撃部隊前線ハ守者ノ  
 内部ニ於テ尙抗戦スル者ニ顧慮スルコトナク退却スル守者ニ尾シ其後端(彼端)ニ達スル事ヲ努  
 メ以テ守者ノ恢復攻撃ニ備ヘ且核點ノ攻略ニ任スル部隊ヲ掩護ス元來此第一線ノ兵力ハ固ヨリ  
 此任ニ當ルコト能ハサルモ之ニ努力セサルヘカラス若其力足ラサレハ第二線部隊ハ村落(森林)  
 外ヲ繞回シテ迅速ニ後端ニ達スルコトヲ努ムヘシ而シテ小森林若ハ農圃ノ戰鬥ニ在リテハ此要  
 求ヲ充足スルコト困難ニアラス此際守者ノ群ニ出會スルモ無用ノ多兵ニ對スル爲停止スルハ嚴  
 禁タリ此ノ如キ守者ニ對シテハ正面攻撃ヲ以テスレハ成功ノ望少ナシ宜ク側方ヨリ之ヲ脅威シ

又ハ其退路ヲ斷ツヲ可トス

(甲)森林内部ノ戰鬥

(一)森林内部ノ戰鬥ト一般戰鬥トノ差異

森林内ニ於テハ第一衝突ノ際接戦ヲ以テ到ル處ニ敵ヲ擊破シ得タリトスルモ林内ノ戰鬥ハ未  
 タ之ノミヲ以テ終局ヲ告クルモノニアラス守者ハ第二ノ林空ニ退キ好陣地ヲ占メ或ハ新銳ノ  
 部隊ノ増加ヲ得テ再ヒ抵抗ヲ試ムルコトアルヘシ從來ノ戰例ニ依ルニ林内ノ戰鬥ハ廣野ノ戰  
 闘ト其趣ヲ異ニシ一局部ノ勝利決シテ久キヲ持セス又廣ク他方面ニ影響ヲ及ホサス是レ森林  
 戰ノ特性ナリ而シテ林内ノ戰鬥ニ勝利ヲ得タル者ハ緩徐ナル追撃ヲ以テスルト急速ナル追撃  
 ヲ以テスルトニ論ナク共ニ其利ニ乘スルコト難ク敵ハ勝者ノ眼界外ニ没シ其追尾ヲ免レテ更  
 ニ便利ノ地ヲ選ヒテ陣地ヲ占領スルコトヲ得ルモノナリ故ニ攻者某點ニ於テ勝利ヲ得ルモ更  
 ニ他所ニ於テ一層不利ナル形勢ノ下ニ戰鬥ヲ爲ササルヘカラス是レ森林戰ノ動モスレハ彌久  
 不決ノ性質ヲ帶フル所以ナリトス



(二)攻守兩者ニ攻勢的動作ノ要求

森林ハ隊伍紊亂シ指揮不統一ト爲ルモノニシテ殊ニ繁茂セルモノニ在リテハ然リトス元來防禦ハ少クモ多少開濶セル射界アルヲ要ス然ルニ此要求ハ林縁ニ於テ之ヲ求ムルコトヲ得ルノミ或ハ林内ノ立樹極メテ疎散ナルカ如キ特別ノ場合ナラサルヘカラス此故ニ森林内部ニ於テハ攻守兩者共ニ唯攻勢的動作ヲ取ルヲ要ス

(三)攻守兩者内部戰鬪ノ取捨

攻者ヨリ云ヘハ林内ノ戰鬪ハ成ルヘク之ヲ避ケ其外側ヲ迂回シテ前進スルノ可ナルコトハ前已ニ之ヲ述ヘタリ是攻者此動作ニ出ツルトキハ森林ノ防禦力ハ自然ニ消滅スレハナリ攻者ハ其任務上周縁ヲ占領スルニ至リ内部ノ戰鬪ヲ遂行スヘキヤ否ヤハ一ニ其目的ニ由ルモノニシテ次ニ述フル所アルヘシ

R 書ニ曰ク「埃國著名ノ兵學家元帥 Von Waldstetten ハ守兵既ニ林縁ヲ失ヘハ即チ森林ヲ棄テンコトヲ欲シテ曰ク既ニ有利ナル林縁ヲ守ルコト能ハサル者ニシテ其不利ナル内部

ノ戰鬪ニ於テ能ク攻者ヲ防守スヘキ見込アルコトナシト然レトモ攻者ノ指揮紊亂シ其林縁ニ勝利ヲ得タルニ乗シテ一意急追シ來ルトキハ逆襲尙望ミアリ故ニ未タ遽ニ内部ノ戰鬪ヲ斷念スヘカラス」ト

又曰ク「Waldstetten モ亦一概ニ其說ヲ主張スルモノニアラス一ニ中隊ハ林内ニ留置シ側面ヨリ攻者ヲ突撃シテ之ヲ擾亂セシムヘシト云ヘリ蓋シ其意ニ依レハ守者第一ノ横路(自註  
面ニ平行  
セル道路)ニ到レハ即チ集合シテ之ヨリ林外ニ出テ而シテ後攻者ノ林外ニ出ツルヲ拒止スヘシト云フニ在リ」ト

(四)内部ノ戰鬪ニ於テ攻守兩者ノ恪守スヘキ原則

- 一、果敢斷行ナルヲ要ス  
未タ衝突ヲ起ササル前ハ極メテ熟考シ既ニ攻撃ニ移ルヤ唯之カ斷行ニ努ムヘシ是レ此戰鬪ニ於ケル勝利ノ第一要訣ナリ
- 二、急速ナル射撃ニ次キ短兵接戰ヲ爲スヘシ

凡ソ急射撃及白兵ヲ以テスル突撃ハ常ニ敵ノ意外ニ出ツルヲ要ス然ルトキハ敵ハ攻者ノ状態ヲ觀察スルニ由ナク其勇猛ナル動作ニ眩惑セラレ其兵力ヲ過當視シ諸方ヨリ湧出スル喊聲ニ脅サレ其銃聲ノ猛烈異常ナルニ驚愕シ或ハ他ノ迂回部隊ノ爲ニ退路ヲ中斷セラレンコトヲ恐レ抵抗ノ念ヲ失シ倉皇退却スルニ至ルモノナリ

凡ソ森林内ニ於テハ已ニ敵ヲ奇襲シテ敵ノ爲ニ奇襲セラル、コトナキヲ要ス之ト同ク其射撃モ亦敵ニ先ニスルコトヲ努ムヘシ之カ爲敵兵來襲スルコトヲ知ラハ前方ニ出シアル搜索斥候ヲ招還シ直ニ射撃ノ準備ヲ爲シ隱蔽シテ敵ヲ待ツヘシ敵兵恣マニ前進セハ是乘スヘキ好機ナリトス

之ヲ要スルニ森林内ノ戰鬥ニ於テハ最近距離ニ於テ至短時間突然急射撃ヲ爲シ之ニ續クニ銃劍突撃ヲ以テスルトキハ概テ勝利ヲ獲ルモノトス

R書ニ曰ク「森林内ニ在リテ急射撃ヲ用ユルハ甚タ危シ經驗ニ據ルニ號令、號笛及喇叭號音皆其林内ニ反響スル爲聽取スヘカラス之ト同シク急射撃ヲ用ユル部隊ハ其指揮

官ノ掌裡ヲ脱シ戰勢ノ變化ニ應スルコト能ハス故ニ立樹極メテ疎散ナルカ又ハ開濶ナル林空ヲ除クノ外林内ニ於テハ成ルヘク急射撃ヲ避クヘシ又將ニ敵ト衝突セントスルニ方リ軍隊ニ急射撃ヲ用ユヘカラサルコトヲ訓諭スヘシ往々一彈ヲ裝填セシムヘキ場合多カルヘキヤ否ヤ研究スヘキ事トス」ト

守者ノ奇襲ヲ行フニ最モ可ナルハ立樹疎大ナルカ或ハ新ニ伐採セラレタル空地或ハ立樹ナキ空地ニ接シテ繁茂密生シテ通過シ難キ樹叢ヲ有スル地トス攻者此樹叢内ニ前進シ來ルヲ偵知セハ守者ハ宜ク疎林内ニ在リテ靜肅隱蔽シテ之ヲ待ツヘシ攻者秩序弛解(殊ニ其樹叢内ヲ通過スル者ニ於テ然リトス)シテ前進スルヲ以テ此機ニ乘シ十字火ヲ施スニ便ナリトス

#### (五)協同動作

林内ノ戰鬥部隊敵ト衝突スルニ方リテハ用意一途ニ偏セスシテ多端ニ涉ルヲ要ス凡ソ諸部隊ノ内自ラ敵ヲ控エサル者ハ其比隣部隊ノ方ニ接戦スル者ニ赴援スルノ義務アリ又諸部隊皆互ニ連絡ヲ保持シ或ハ其既ニ失スル者ヲ回復スルヲ努ムヘシ

## (六) 獨斷專行

以上掲ケタル原則ニ示ス如ク我全力ヲ擧ケテ短急銳利ノ戰鬪ヲ以テ到ル處ニ敵ヲ擊破スルコトハ特ニ森林戰鬪ノ方式ヲ掲クルモノニシテ百事皆我所望ノ如ク遂行シ難キハ自然トス即チ自己ノ部隊モ大困厄ニ陥リ前述ノ如ク混亂却ツテ其蒙ムル所ト爲リ且彼我兩軍縱橫紛亂又收ムヘカラサルニ至ルコト多シトス斯ノ如キ形勢ニ於テ之ヲ爲ス如何之ヲ解決ハ容易ノ事ニアラス唯各指揮官各自ノ戰術的意見及動作並其勇氣智慮熟練奮勵及獻身的精神等能ク此難局ヲ排シテ臨機ノ處置ヲ爲シ以テ高等指揮官ノ企圖ニ副フルノミ

## (七) 各指揮官ノ動作

高級指揮官ハ戰鬪ノ初期ニ於テハ良ク其豫備隊ヲ手裡ヨリ脱セサル事ニ注意シ突擊ノ時機ニ至レハ成ルヘク豫備隊ノ位置ニ在ルヲ要ス既ニシテ豫備隊ヲ戰鬪ニ參與スルニ及ンテ一地ノ勝利ヲモ得ルコト能ハス且混戰亂鬪ト爲リ統御其手裡ヲ脱スルニ至レハ身親ヲ緊要ノ地點ニ位置シ戰鬪ニ參與シ其態度良ク部下ノ模範ト爲リ以テ之ヲ鼓舞スルノ外他ニ良策ナシ從來ノ

戰例ニ於テ參謀將校或ハ他ノ將官自ラ中隊ノ先頭ニ立チテ活模範ヲ示シタルコト蓋シ其例ニ乏シカラス然レトモ高級指揮官終始一部隊ノ動作ニ携ハリ全局ノ指導ヲ忘却スルハ又過誤ナリトス須ラク意ヲ全局ニ注キ一時甲所ニ在リテ指揮シアルモ去リテ又乙所ニ至リ且要スレハ其戰鬪ニ參與シ更ニ去リテ他方ニ至ル如クスヘシ何トナレハ事ノ大勢ヲ達觀シ且之ニ由リテ斷乎タル決心ニ基キ適當ノ處置ヲ爲スハ唯其身及其機關タル參謀將校副官及傳令將校ノ盡瘁努力ニ依リテ得ヘケレハナリ

夫レ森林内部ノ戰鬪ハ隊伍解亂團結弛解ヲ極ムルコト多シ故ニ將校ハ狀況之ヲ許ス限リ斯ノ如キ解亂シタル者ヲ其所屬隊タルト否トヲ問ハス之ヲ集結シテ臨時ノ編成ヲ行ヒ之ヲ其附近ニ在ル高級指揮官ニ委スルカ或ハ自ラ之ヲ指揮シテ戰鬪ニ加入スルヲ要ス

## (八) 豫備隊ノ戰鬪加入

豫備隊ノ戰鬪加入ハ遲緩ナルヘカラス一タヒ擊破セラレタル敵ハ之ヲシテ蘇息セシメサルヲ要ス我進擊反復數方向ヨリ行フトキハ敵ヲシテ益々恐慌ヲ來サシムルモノトス

凡ソ斯ノ如キ猛烈ナル突撃ヲ行フトキハ次ノ如キ一大利益ヲ收得スルヲ得即チ軍隊安危ヲ顧慮シ其恐怖躊躇ノ念ヲ生スルノ違アラサシム夫レ敵ト衝突スルノ瞬間ニ於テ若夫レ遲疑シテ其多寡ヲ概測シ若ハ詳算セント欲スル者ハ既ニ九分ノ敗ヲ取ル者ナリ凡林内ニ於テ我若銳意突撃スレハ優勢ナル敵モ其兵力ヲ利用スルニ由ナク結局斯ル短兵急ナル突撃ハ戰鬪ノ經過愈々短クシテ其一部ノ勝利愈々必スヘク且其死傷愈々少ナシ其死傷少ナキトキハ敵ノ近距離射撃ヲシテ其効力ヲ逞クスルノ時ナカラシムレハナリ

(九) 攻撃部署、隊形及攻撃前進

隊形ノ選擇ニ關シテハ次ノ要領ニ依ルヘシ即チ攻撃前進ノ爲運動及連絡ノ容易ナルヘキコト接戰ノ爲迅速有利ニ展開シ得ルコト是ナリ步兵操典改正草案第二百四十三ニ曰ク「蔭蔽地ニ於テ戰鬪スル場合ニ在リテハ主トシテ接戰ヲ準備スルヲ要ス之カ爲第一線ノ各部隊ハ正面ヲ狹小ニシ且密集ノ隊形ヲ取り其正面前及要スレハ側方ニ僅少ノ散兵若ハ斥候ヲ配布シ各梯隊ハ其距離ヲ短縮シ翼側後ニ強大ノ豫備ヲ置クヘシ」ト又步兵操典第百三ニ曰ク「森林ヲ通過

ヘルニ方リテハ特ニ方向ヲ誤ラサルコトニ注意シ且常ニ接戰ヲ準備スルヲ要ス之カ爲第一線ノ各部隊ハ成ルヘク集結シ其正面前要スレハ側方ニ少數ノ散兵若ハ斥候ヲ配布スヘシ」ト横廣ノ正面ヲ有スル隊形ハ林内ノ運動困難ニシテ過度ニ正面狹小縱長大ナルモノハ展開ニ不便ナリ故ニ運動中ハ中隊縱隊ノ側面向隊形(所要ニ從ヒ其間隔ヲ増大ニス)ヲ併立若ハ雁行ニ配置シタルモノヲ以テ適當トス而シテ其既ニ敵ト衝突セントスルヤ豫メ中隊縱隊ヲ取り且接戰ノ爲横隊ニ展開シ得ルヲ要ス

且書ニ曰ク「森林内ニ在リテハ部隊ノ間隔多キモ百歩ヲ過クヘカラス

第一線部隊ノ後方ニハ第二線部隊密集隊形ヲ以テ概ネ道路上ヲ續行ス

第一線ノ正面及側面ハ斥候ヲ以テ掩護スルヲ要ス此斥候ハ本隊ト目視ニ依リ連絡シ得ルヲ度トシテ離隔スヘシ

凡肢距アルトキハ必ス停止シテ方位ヲ確定シ秩序ヲ整ヘテ前進スルヲ要ス之カ爲時間ヲ失フハ已ムヲ得サル所ナリトス

元來攻者林縁奪取後ハ其退却スル敵ト觸接ヲ絶タサル爲直ニ追躡斥候ヲ出シ之ニ隨從セシムヘキモノトス

森林内ニ於テハ軍隊ノ秩序紊亂シ其行進方向ヲ失シ易キモノナリ故ニ若大道、水流或ハ高地ト低地ト界スル所ノ岸崖等誤認スヘカラサル線路アリテ之ニ沿ヒ前進スルヲ得ハ甚タ可ナリ豫メ羅針盤ヲ以テ方位ヲ確定シ之ニ依リテ前進スルハ亦安全ナル法ナリトス然レトモ是平時ヨリ訓練シアルヲ要ス

(十) 複廓ノ攻撃

攻者勝利ヲ得テ前進中複廓ニ至リテ頓挫セハ勉メテ急且密ニ之ヲ封圍スヘシ  
斯ノ如キ新抵抗地點ハ凡テ林内ニ進入スル部隊ヲ吸引スルノ力極メテ大ナリ然レトモ凡ソ林内ノ攻撃戦闘ニ任スル者ハ無益ニ此點ニ集合スルハ不利ノ極ナリ若夫レ敵ノ寡弱部隊ト雖森林ノ後端ヨリ前進シ此複廓ノ攻撃ニ餘念ナキ攻者ヲ奇襲セハ之ヲ席捲スルコト難キニアラス

(十一) 森林内ノ戦闘ニ於ケル守者ノ動作

守者其前端ヲ失フノ後戦闘本來ノ目的尙之ヲ繼續スルニ在リヤ或ハ之ヲ中止スルニ在ルヤニ依リテ嗣後ノ動作ヲ決定セサルヘカラス

戦闘ヲ中止スル場合ニ在リテハ迅速ニ後退シテ森林後ニ出ツヘシ此際敵ト離脱スルハ森林内通視困難ナルト射界乏キトヲ以テ容易ナリトス時宜ニ依リ豫メ收容陣地ヲ設クルモ可ナリ然レトモ斯ル退却ニ於テハ適時適當ニ全線ニ退却命令ヲ傳達スルハ豫メ通信機關ノ設置(森林内ニ在リテハ其立樹ノ疎密ニ依リ困難ノ度ヲ異ニス)アルトキノ外困難ナリトス精神ノ沈着ヲ失フヘカラス指揮ノ不統一ヲ忍ハサルヘカラス又指揮官ハ速ニ森林内ニ出テ以テ敵ノ突出ニ對スル防禦準備ヲ爲ササルヘカラス

戦闘ヲ持久スルトキニ方リテハ前述ト其趣ヲ異ニス即チ攻者ノ尺寸ノ進退ヲ争ヒ屢々停止スルハ不可ナリ前端既ニ奪取スル所ト爲ルカ又ハ到底之カ回復ノ策ナキトキハ直ニ第二防區迄退却シ此所ニ展開シテ更ニ抵抗ヲ試ムヘシ前者ノ前進ハ概テ此地區ニ於テ停止スルモノナリ守者撃退セラレルトキ伏兵ヲ設ケテ攻者ノ追撃部隊ヲ阻止スヘク殊ニ追撃部隊戒心ヲ缺キ暴

進スルトキハ此計ニ陥ルモノトス斯ノ如ク伏兵ヲ設クルトキハ退却部隊ハ故ラニ敵ヲ誘致シテ之ニ陥ラシムルヲ得然レトモ斯ノ如キ伏兵ハ唯寡弱部隊ヲ以テスヘシ埋伏部隊掩護物後ニ潜匿シ敵ヲ通過セシメテ後背後ヨリ之ヲ奇襲スルモ可ナリ

伏兵ヲ設クルニハ決シテ低處ニ置キ高所ニ向ツテ突撃セシムヘカラス又其退路ノ危険ナキコトニ注意スヘシ

(十二)森林内部ノ戦闘ニ在リテハ攻守兩者共ニ捕虜ヲ生スルコト多ク殊ニ銳意突進シテ利ニ乗スル者之ヲ獲ルコト多シ捕虜ハ其驚怖未タ定マラサル前速ニ背後ニ送致スルヲ要ス然ラサレハ狀況不利ニ陥ルトキハ又敵タルノ虞アリトス

(例一) Hohlaningen ノ戦闘 Saliep 林内不意ノ衝突

(例二) König=Grätk 附近 Oler=Prina 林内ノ第六十八聯隊ノ戦闘 (Talus 氏 König=Grätk 第一二五十九頁ニ曰ク「獨國 Sehnig 旅團北方ヨリ來リテ Sehnig 林ニ入り其第五十六聯隊ヲ先頭ニ進メ林内第一ノ空地ニ至ルヤ Rhundand 兵若干之ヲ射撃シタル後銃劍突撃ヲ以テ之ヲ撃退ス獨國參謀本部記録ニ據ルニ Oler=Prina ヨリ Newyrin ニ亘ル所ノ獨軍ノ横線突破セラレ其名状スヘカラサルノ混亂瞬間ニ大隊ヨリ大隊ニ傳播シ其附近ニ戰フ所ノ第八軍團ノ兵疾走)ハ右ニ述フスルカ如クニシテ之ヲ避ケシト云フ是ニ明カニ先ツ射撃シ且一面ニ突撃スルノ緊要ナルヲ知ルヘシ

ルカ如キ戦闘ノ例證ナリトス

(例一)佛軍ノ Niederwald 林内 Erssass=Chausen 小林ヨリ突撃セルヲ獨國第十一軍團ノ一部ノ巧ミニ撃退セル及 Ohunge ノ戦闘ハ最モ適例ナリトス

(例二)次ニ掲クル一瑣事ハ Barseiwerfer 半大隊(第七十八聯隊ノ第九第十中隊)Vionville 林内ノ細徑上ニ突進セルトキニ屬スルモノニシテ甚タ訓誨ト爲スヘシ該聯隊戰史ノ記事ハ殊ニ森林戰ノ特色ヲ見ルヘキモノナレハ次ニ之ヲ掲載ス曰ク此森林一面ニ灌木繁茂シ隊伍ヲ整ヘテ其中ヲ貫行スヘカラス行進中號笛ヲ鳴ラシ或ハ相呼應スルモ兵卒連絡ヲ失シ森林内ニ向ツテ射撃スル敵彈夥シク樹枝ニ中リテ音響ヲ發シ地上ニ落下シ益々混亂ヲ増加ス唯將校ノ奮勵努力ニ依リ辛フシテ中隊ノ一部ヲシテ混亂ヲ免シムルノミ獨リ半大隊其 Vionville 林ノ西端ト平行シ之ト北方ニ向ツテ通スル所ノ一溪澗ニ前進スル爲其方位ヲ失セス榴彈ノ破片雨ノ如ク死傷ヲ冒シテ前進ス敵情ニ就テハ其形影ヲ認ムル能ハス銃丸習々ノ音ヲ爲シテ密葉ノ間ヲ飛來シ又一齊射撃ノ音響ハ轟々トシテ近傍ノ地ニ聽ユ將校「前へ進メ」ヲ連呼シ兵卒其後方

ニ續行ス其内二三集團ハ歩々徑路ヲ前進シテ遂ニ林端即チ此困難且危険ナル行進ノ至ンラト  
 スル地ニ到ルヲ得タリ大尉 Von Wulfen ハ第十中隊ノ右方ニ沿フテ前進シ其側面不意ニ敵  
 ノ爲ニ脅威セラルルヲ顧慮シテ半小隊ヲ右方ニ派遣シ而シテ自己ハ別ニ他ノ方位ニ進ミ大尉  
 Bensen = Werfer ト共ニ兩中隊ヲ集合セシニ此時中隊ノ兵既ニ三分一ヲ失フ而シテ霎時ニテ  
 モ此ニ駐止スレハ其兵皆盡クルノ虞アリ且中隊ノ地位不安ニシテ他兵ノ到着ヲ待ツヘカラス  
 此ニ於テカ半大隊又行進ヲ起シ行クコト遠カラスシテ又灌木ノ樹叢中ニ没シ統屬再ヒ弛解ス  
 此ニ於テ敵兵不意ニ射撃ヲ爲シ我前進沮滯ス我最先部隊之ニ應射セシモ敵ヲ目撃スルコト能  
 ハス中尉 Von Eisoes 十七八名ヲ集合シ之ヲ提ケテ銃聲ノ方向ニ挺進セシニ偶々前述ヘタル  
 溪澗ノ畔ニ至リ且之ト共ニ林端ニ出ツ Bensen = Werfer. Von Wulfen ノ兩大尉ハ正面前ノ  
 荆棘内及樹木後ニ潜伏セル敵ノ散兵ト銃火ヲ交ユル間中尉 Von Eisoes ハ溪澗ノ左崖ニ攀登  
 セシニ此崖ハ佛兵ヲ掩蔽セシモノニシテ正ニ其側面ニ出テ最大有利ノ動機ヲ得タリ亦佛兵ノ  
 林端ニ在ル者アリ其數約一聯隊ナルヘク悠々無爲ニシテ銃ヲ交叉シテ立チ分明ニ其前方森林

中ニ在ル散兵線ノ支撐タルカ如シ中尉自ラ一銃ヲ執リ其銃兵ト共ニ急射撃ヲ爲シタルニ此聯  
 隊ハ少シモ抵抗ヲ爲サスシテ倉皇秩序ヲ亂シテ退却セリ中尉ハ此奇勝ヲ得タルノ後其兵ヲ率  
 ヒテ(内二名ハ已ムヲ得スシテ其地ニ殘留ス)林端ニ向ツテ去リ半大隊尙近キニアルヘケレ  
 ハ之ヲ尋テ合セント欲ス其途上亦佛軍第六十五聯隊附屬ノ散兵樹叢ノ中ニ隱蔽シアリシヲ驅  
 逐シ其三十名ヲ捕虜ト爲セリ

(乙)村落内部ノ戰鬪

(伊)村落内部ト森林内部トノ戰鬪法ノ差異

村落内部ノ戰鬪ハ其原則ニ於テ森林内部ノ戰鬪ト相同シ唯其複廓ノ家屋ナルトキハ戰鬪頑強  
 ヲ極メ暴進直突之ヲ力攻スルモ其奪取困難ナリ然ルニ從來ノ戰例ニ於テ此直突ヲ以テ失敗ヲ  
 取リシ者頗ル多シ又攻撃部隊ノ兵力寡少ナリシ爲戰鬪慘愴ノ状態ニ陥リ村落ハ全戰鬪ノ燒點  
 ト爲ルコトアリ

(呂)攻者支撐點タル村落(森林)ヲ奪取スルヲ要スルトキト然ラサルトキトノ戰鬪法

速ニ支撐點ヲ奪取スルノ必要アラサルトキハ攻者ハ唯守者ノ尙占據スル家屋ヲ包圍シ自ラ其近傍ノ家屋ニ據リ其銃眼ヨリ射撃シテ敵ヲ驅逐スルヲ努メ以テ徐ロニ支撐點外戰鬥ノ結果ヲ待ツヘシ之ニ反シ若速ニ支點ヲ奪取スル必要アルトキハ既ニ敵ノ小銃射撃ヲ挫折スルノ後須ラク鉞斧等ノ器具ヲ用ヒ或ハ爆藥ヲ以テ突入口ヲ開キ複廊ヲ進撃スルヲ可トス又放火シテ烟焰ヲ生セシメ以テ敵ヲ薰蒸シテ之ヲ驅逐スルモ一策ニシテ之ヲ力攻スルニ比スレハ成算多クシテ鮮血ヲ流スコトナシ是此攻撃法ハ必スシモ非トスヘカラサル方法ニシテ軍法ノ決シテ禁スル所ニアラサルナリ

クント氏曰ク「佛國ノノ人民ハ外人ニシテ之ヲ佛國ノ地ニ行フモノアル毎ニ之ヲ痛斥ス而シテ又一方ニハ Carvaignoe ノ Orleansville 附近ノ洞穴ヲ薰烟セル（一千八百四十四年）及 Pelissier ノ Dohra 洞ヲ薰烟セル（一千八百四十五年）カ如キモ尙佛國人ノ内ニ之ヲ庇護スル者アリ諺ニ曰ク其事同シト雖其爲ス所ノ人同シカラサレハ其事亦同シカラスト

（波）村落戰ニ於テ複廊ノ戰鬥ノ例證

千八百七十年十二月二日 Loigny ノ奪取ハ之カ例證ト爲スニ足ル此日十二時半頃第七十六聯隊第六第七第八中隊 Loiigny ニ突入シ（第六中隊ハ北端ニ向ヒ第七中隊ハ梯隊トシテ之ニ續行シ第八中隊ハ東口ニ向フ）其他ニ巴華里近衛聯隊所屬二中隊ノ兵若干アリ合計約七百人ニシテ佛兵三千人之ニ對ス其第一突撃ヲ以テ二三ノ家屋ヲ奪取スト雖其後獨軍ノ突撃沮滯スルコト甚シ佛兵窟牖又ハ銃眼ヨリ射撃シ或ハ天井ノ孔口ヨリ下方ニ向ヒ射撃ス獨軍死傷多シ遂ニ一二農厦ニ放火スル（火炎ト烟トノ助ニ依ル爲）已ムヘカラサルヲ見ル惻憐ノ心アル者ハ之ヲ以テ蠻行ノ所爲ト名クルモ元來戰爭其者ハ慘酷ノ技ナリ況ンヤ二三家屋ヲ燒却シ以テ鮮血ヲ流スコトヲ尠クスルヲ得ハ豈ニ憂フルニ足ランヤ斯クノ如クシテ遂ニ Loigny ノ東北部ヲ奪取シ捕虜又多シ第八中隊前進シテ寺院ニ到リシニ寺院及周壁堅牢ナル墓地共ニ頑強ニ抵抗シテ屈セス且獨兵ノ背後ニハ尙二三農厦ノ佛軍ノ有ニ存スルモノアリ即チ獨兵ハ一時其占領セシ地ヲ失ハサルコトヲ努ムルノミナラス尙之ヲ固守スル爲必要ノ設備ヲ爲ササルヘカラス然ルニ其携帶スル土工器具ノ乏ク且家屋墻壁共ニ堅牢ニシテ銃眼ヲ穿ツニ困難セリ



第八中隊ハ將ニ Loigny ノ周壁ニ達セントスルヤ佛兵村落ノ最南部ヨリ其左側ニ向ヒ逆襲シ來レリ然ルニ幸ニシテ左翼ニハ第七中隊ノ續行スルアリ故ニ直ニ佛兵ニ向ヒテ前進シ其之ト相距ル事百歩ノ間ニ迫リテ盛ニ發射スル事稍々久シク佛兵終ニ退却シ獨兵背後ヨリ一齊射擊又ハ急射擊ヲ加ヘタルヲ以テ終ニ潰走セリ第七中隊ハ之ヲ追撃シテ村落ノ東南端ヨリ約二百歩ノ處ニ到リシニ又其南部ヨリ射擊セラレシヲ以テ此中隊ハ之ニ向ヒテ突撃シ此ニ激烈ナル家屋戰ヲ生ス然レトモ第七中隊ハ之カ爲本街道東側ノ農厦ヲ奪取スルヲ得タリ彼我兵數相匹敵セサルノ不利ハ村内延燒盛ニシテ獨兵一時ノ進入スルヲ得サリシ東風火炎ヲ吹キテ本街道ヲ超エ一屋ヨリ一屋ニ蔓延シ火炎天ヲ焦シ毒烟地ヲ拂フテ又面ヲ曝ラスコト能ハス然レトモ火勢ノ蔓延ハ獨軍ノ爲其難事業ヲ幫助セリ彼我咫尺ノ間ニ迫リテ相射擊ス此時ニ方リテハ最早指揮ノ行ハル、カ如キハ到底望ム所ニアラス此戰況恰モ Bageller ノ村落戰ニ同シ勇猛ナル兵卒ハ皆將校及下士ノ身邊ニ集合ス

午後二時頃第九十聯隊第一第二第九中隊村落ノ西部ヲ進撃シ同第三第四中隊ハ村落外ニ止マ

リ同第十二中隊及第八十聯隊第四中隊ハ Villains 及其北方ノ森林ヲ占領ス其後第十聯隊(巴華略)第二大隊 Gony ヨリ至リ Wehrenbury 第九十聯隊第十十一中隊及第十四聯隊獵兵大隊第三中隊村内ニ入ルニ及ンテ獨兵歩々ニ頑強ナル家屋戰ヲ擊破シツツ前進シテ遂ニ墓地ノ近傍ニ出ツ然レトモ此ニ至リ佛兵墓地ノ圍壁ノ後方及寺院内ニ隱蔽シテ盛ニ射擊シ獨兵ノ前進遲滯ス一二中隊家屋内ニ入り又ハ壁後ニ據ルト雖器具ヲ携帯セサリシヲ以テ墻壁ヲ破壊シテ前進スルコト能ハス然レトモ此時南方ニ在リテハ墓地ノ守兵ト他ノ佛兵ト截斷セサレ將官 Souiq 暮色ヲ帶フルニ乘シ Villepion ヨリ反復突撃シテ村内守兵尙戰鬪シツアル者ヲ救出セント欲セシモ獨兵ハ其 Villeonig 及 Loigny ヲ占領セシカ爲偶然村内戰鬪兵ノ爲ニ此突撃ヲ拒止シ得タルヲ知レリ又 Loigny ノ東方ニハ尙第七十五聯隊第二大隊及其獵兵大隊ノ位置スルアル此兩大隊恰好 Loigny ノ南端ヲ迂回シテ佛兵ヲ突撃シ且第十四聯隊及獵兵第三中隊(Loigny ノ西端ニ在リ)ノ急射擊ヲ援助セラレテ第九十聯隊第三中隊ト共ニ戰勢ヲ一變セリ大佐 Von Böhm 亦 Fungen 附近ニ在リシ中隊ヲ以テ前進シ恰モ Loigny ノ北口ニ到着セ

シ佛兵ヲ擊退ス Loigny 内ニ戰鬪シツアル第七十六聯隊第六中隊モ亦其餘ス所ノ殘兵ヲ以テ村ノ西側ノ一大農厦ヲ奪取シ佛軍百名ヲ捕虜トシ且敵ノ一縱隊ノ潛ニ村落ノ西端三十歩ニ到ル者ニ急射撃ヲ爲シテ之ヲ擊退セリ巴華略第十聯隊第二大隊モ亦此戰鬪ニ參與シ村落ノ西側ニ於テ佛兵二百五十名ヲ捕虜トシ將官 Saug 進擊擊退セラルト共ニ敵勢終ニ挫折ス敵ノ此進撃ノ爲ニ失フ所約一千百名ナリ墓地守兵ノ頑強ナル抵抗モ亦終リヲ告ク第七十五聯隊第十第十一中隊ノ散兵小隊ハ村落ノ西側ニ來リ此方面ノ獨兵ヲ援助ス守兵勇敢ナリト雖突破ノ望竭キテ遂ニ投降セリ其數約六百名ナリ獨軍ニ在リテモ此最後ノ一戰全ク Loigny 村落ノ戰鬪ト同シク劇烈ナリシハ其死傷ノ比例ニ徴シテ知ルヲ得ヘシ而シテ第八十九聯隊ハ死傷百分中死者其四十二、一傷者五十七、九ヲ占ム凡ソ死傷ノ比例ハ傷者三乃至四名ニ死者一名ヲ占ムルヲ常トス尙負傷ニ原因シテ死スル者ヲ算スルモ死者三ニ對シ傷者七ナルヲ最大限トス然ルニ失踪シテ再ヒ歸ラサル者ヲ算入シ傷者五十五名死者四十五名ノ比ト爲レリ即チ彼我近ク相接シ其戰鬪劇烈ナリシ確證ナリトス

墓地ノ守兵ハ抗戰四時間ノ久キニ彌リ外部戰鬪ノ勝敗既ニ決シテ後投降ス凡ソ斯ノ如キニ方リテハ守者武器ヲ投スルカ(Gelsberg 及 Bapeller)然ラサレハ攻者ノ包線ヲ突破シ去ルノ外他ニ策ナシ向シテ Loigny 在リテハ此突破到底行ハルヘカラス墓地ノ守兵精勇比ナキ將官 Souiq ノ指揮ニ屬シテ Loigny ヲ進擊セル兵殊死決戰ノ狀一雙ノ教育談トシテ永ク青史ニ其芳名ヲ存スルニ足ルヘシ

#### 頑強ナル複廓防禦ノ例(其二)

Messuses (千八百七十年十二月八日) Bergenev ノ戰鬪ニ於ケ此例證ヲ見ル即チ第七十五聯隊第七中隊ハ村落ニ突入シテ烈シテ短兵格鬪ノ後終ニ臺地ヲ奪取シ所々ノ家屋ニ放火スルニ及ンテ戰鬪始メテ終局ヲ告ク

一地區内ニ包圍ヒラレタル守者之ヲ突破シテ能ク成功シタルノ例少ナシ是包圍部隊愈々大ニシテ其地域愈々廣濶ナレハ其事益困々難ナレハナリ

第一ニ指ヲ屈スヘキモノハ Villerexel 城館ニ戰フ所ノ後備兵及 Briare ノ守兵(Drandt 氏千八百七十八年

十二月二十日ヨリ同七十一年二月十九日ニ至ル迄ノ *Langon* 支隊ノ突圍是ナリ *Briare* ハ直ニ *Loire* 河ノ舉動千八百七十四年 *Dumas* 刊行獨國參謀本部記錄第四卷 畔ニ在リ將官 *Rantgan* ノ支隊(歩兵六中隊、騎兵二聯隊、騎砲兵一中隊)之ヲ占領ス一月十四日 *Ju Feuille* 師團(一萬乃至一萬二千)濃霧ニ乘シテ村落ヲ迂回シテ支隊ノ *Cien* ニ退却スル道路ヲ杜絶シ且 *Loire* ノ前岸ヨリ砲兵二中隊及多數ノ義勇兵援助射撃ヲ爲ス然レトモ支隊ノ退却機ヲ失セス且熟練ナリシカ爲其失フ所死傷者將校二、兵卒十三名馬匹六頭(外ニ捕虜六名)アリシノミ

突圍ノ戰例

千八百七十年十二月十日 *Beaugouis* ノ戰闘 *Drigny* 村ノ事ハ前例ト異ナリ此村落ハ獨軍陣地ノ前面ニ在リ第三十二聯隊第七第八中隊之ヲ占領セリ佛軍拂曉攻撃シテ容易ニ之ヲ奪取セリ此時守兵力攻ノ後突圍シ去ラント欲シ死傷合シテ將校一、兵卒十七名及捕虜參謀將校一名軍醫一名兵卒百二十五名ヲ失フ(第三十二聯隊歷史)

(仁)村落奪取後ノ處置

攻者村落ヲ奪取シタルトキハ先ツ適宜ニ村落ノ後端ヲ占領シテ且守備ヲ加ヘ而シテ眼前防禦ニ必要ナラサル部隊ハ悉ク之ヲ村落外ニ出スヘシ是敵兵砲火ヲ以テ村落ノ占領ヲ妨害スレハナリ

即時村落司令官ヲ任命シ(舊要務令第二百七十八)之ニ新銳ノ部隊ヲ附シ以テ村落内ノ秩序ヲ保持セシム

仔細ニ敵兵ノ村内ニ殘留スル者ヲ搜索スヘシ(此事項ハ森林ニ在リテモ又然リ敵ノ散亂兵森林内ニ隱匿シ自衛ノ計ヲ立ツルコト難カラサレハナリ *Giefert* 及 *Niedervald* 森林參照)是レ必要ノ事ナルモ村落奪取ノ際多事ニ忙殺セラレ忘却シ易キ事トス此事ニ關シテハ事蹟ヲ參照スヘシ又其近傍ノ農廈モ又搜索スヘシ其搜索ヲ怠ラサレハ彼ノ *Beannout* ノ戰闘ノ日數晝夜ニ至ル迄 *Maugon* 前邑ノ南方ナル農廈内ニ潛匿シテ止マリ而シテ後突破ヲ謀リシカ如シ村落内ニ火災起リ延焼シツアルトキハ先ツ其道火ヲ絶チ延焼ヲ防止スヘシ

時トシテ軍隊交通ノ爲縱隊路ヲ開設スルヲ要スルコトアリ

## (例) Bagelles

井水ヲ検査シテ哨兵ヲ配置シ其濫用ヲ制スヘシ  
 兵卒ノ動作ヲ嚴重ニ監視スルコト又緊要ナリ凡ソ戦闘後ハ志氣激昂シ往々軍律ヲ犯ス者アル  
 ニ至ル殊ニ村落ニ於テ然リトス

## 第四節 退却及進擊

## (甲)攻者

森林内ノ戦闘ニ於テ到ル處敵皆風靡スレハ我兵舉ツテ秩序ヲ整立シ唯若干部隊ヲシテ敵ヲ追  
 撃セシムヘシ是等ノ事處理セラレテ而シテ後敵ヲシテ再ヒ集合シ且新陣地ヲ占領スルノ時間  
 ヲ得セシメサル爲全力ヲ盡シテ再ヒ前進スヘキモノトス  
 攻者猛烈ニ退却部隊ニ追踵スルトキハ其度ニ依リ第二防區ヲモ奪取シ得ルコトアリ然レトモ  
 斯ノ如キ追撃ハ多數ノ兵力ヲ有シ且密集部隊ヲ續行セシムルヲ要ス此際林内ノ道路其後方部

隊ノ射界内ニ在ルトキハ其前方部隊ハ之ヲ經由スルヲ避クヘシ又散兵線ハ寧ロ林内ニ在ル道  
 路ノ兩側方ニ前進シ密集部隊ハ前線既ニ十分通路ヲ占領シタル後始メテ之ヲ經由シテ前進ス  
 ヘシ

攻者ノ主トシテ努ムヘキハ速ニ第一防區ノ守者ノ抵抗ヲ擊破シ我散兵ノ集團射撃ヲ以テ敵ノ  
 射撃ヲ撲滅シ而シテ後未タ戦闘ニ參與セサル新銳ノ密集部隊ヲ進撃スルニ在リ然レトモ攻者  
 防區ノ戦闘ニ勝利ヲ得ルコト能ハスシテ其攻撃挫折スレハ(是敵ノ障碍強大ナルカ或ハ守者  
 ノ兵數増加スル爲多ク生スル事ナリトス)林外戦闘ノ經過ヲ待ツヘキモノトス而シテ守者若  
 逆襲スルノ意ナキカ或ハ其力ナキトキハ林内防區ノ戦闘中止シテ持久ノ性質ヲ帶フルニ至ル  
 (乙)守者

守者ノ逆襲功ヲ奏シ攻者ヲ擊退スト雖緣端守兵ハ射撃ヲ以テ之ヲ追撃シ之ニ附隨シテ猥リニ進  
 躡スヘカラス若村落ヲ離レ敵ノ逆襲撃ニ遇フトキハ敵ハ却テ村落又ハ森林内ニ侵入シ來リ遂ニ  
 之ヲ失フニ至ルヘシ故ニ守者ノ各部隊ハ其位置ニ在リテ隊伍ノ整頓秩序ノ回復ヲ圖ルヲ要ス敵

ヲ追躡スルハ外部豫備隊若ハ内部豫備隊ノ任ナリトス  
 守者撃退セラレ退却ヲ爲ササルヘカラサルトキハ志氣沮喪スルコト大ナルモノナリ殊ニ全ク混  
 亂セル退却ハ其損害一層大ナリトス要スルニ退却ハ早キニ失スレハ職責ニ係リ遲キニ失スレハ  
 死地ニ入ルヘシ故ニ戦闘ノ狀況ニ依リ敵ノ爲ニ驅逐セラル、時機ヲ瞬間ニ看破シテ適時ニ退却  
 スルハ熟練ノ功ニ待タサルヘカラス

(例)千八百六十六年埃兵ハ六大隊ヲ以テ熱心ニスカリツツヲ防禦シテ後退却ヲ行フニ至リシ  
 モ五千五百人ノ内實ニ二千八百人ハ普兵ノ爲ニ捕虜ト爲リ就中クライン、スカリツツ寺院ニ  
 向ヒシ普ノ獵兵一中隊ハアウバー河ノ渡渉點ノ背後ニ逼迫シテ尙埃兵ノ逃避スルヲ妨止シ多  
 數ノ捕虜ヲ獲タリ

攻者ノ攻撃猛烈ニシテ退却ノ餘裕ナク肉薄ヲ受クルトキハ寧ロ斷然攻勢ニ轉スルヲ要ス  
 (例)千八百七十年普軍ノ固守セルループルケットハ佛軍ノ爲ニ全ク略取セラレタリ此時ニ方  
 リテ普ノ近衛兵ハ再ヒループルケットノ東北部ニ達シ阻絶ヲ超エ又ハ石垣ノ破口ヨリ侵入

シ甚タ慘劇ナル銃劍突撃ヲ爲シ佛兵ハ隱蔽シテ頗ル頑強ナル抵抗ヲ試ミシモ普兵ハ之ヲ擊  
 破シ遂ニ同村ヲ恢復セリ此戦闘ニ於テ普ノ損害五百人佛ノ損害ハ確實ナラサルモ現ニ千二  
 百人ハ普兵ノ爲ニ捕獲セラレタリ

守者ハ戦闘ノ不利ヲ察知セハ僅ニ交戦セシ一部隊ヲシテ村落(林)ノ後方ニ於テ最後ニ強ク抵抗  
 セシメ之ニ依リテ其退却ヲ掩護セシムヘシ

收容部隊ハ其小銃火ノ効力ヲ現ハス爲村落(林)ノ後端ヨリ約二千米ノ地ニ陣地ヲ占領スルヲ可  
 トス

## 第五章 大ナル住民地又ハ森林ノ出口ニ對スル戦闘

(甲)此局地ノ利害

○歩兵ノ爲ニハ森林ノ出口ハ隘路タルノ性質ヲ有セス何トナレハ通常其兩側ニ展開シ得ヘケレ

ハナリ

然レトモ騎兵及砲兵ノ爲ニハ森林殊ニ村落ノ出口ハ通常隘路タリ是街道上ヲ前進セサルヘカラサレハナリ然レトモ森林ニ在リテハ其立樹疎散且高クシテ道路以外ノ運動ヲ許シ得ルトキハ斯ノ如キ制限ヲ免ルルコトヲ得ヘシ

此故ニ守者ハ有効ナル火力ヲ其出口ニ對シ集注シ得ル如ク後退シテ砲備スルヲ法トス

○此局地ノ出口ノ攻守兩者ニ呈スヘキ利害ハ左ノ如シ

一、攻者即チ村落(森林)ヨリ進出スル者ハ最初唯歩兵ノミヲ展開シ得ルヲ常トス故ニ此局地ノ前方ニ立脚地ヲ得ルニアラサレハ砲聲ヲ以テ歩兵ノ攻聲前進ヲ援助スルコト能ハス故ニ強テ砲兵ヲ使用セント欲スルトキハ之ヲ局地ノ側方ニ出ササルヘカラス之カ爲迂路ヲ經由シ時間ヲ消費スルノ不利アリ

ク|ンツ氏曰ク「林内貫行シ難ク林縁ニ障碍アリ守者ハ其有効射界内ニ歩兵及砲兵ヲ配置スヘキ好陣地アリ且攻者之ヲ攻撃スルニ砲兵ノ援助ヲ受クル能ハサルトキハ守者ハ

良好ナル境遇ニ在ルモノト謂ツヘシ

二、攻者ハ村落(森林)内ニ軍隊ヲ配置シテ戦闘セサルヲ得ス從ツテ動モスレハ隊伍紊亂シ指揮困難ト爲ルコト恰モ森林(村落)ニ據リ防禦スル守者ニ等シ  
攻者村落(森林)ヲ攻撃シテ之ヲ奪取シ隊伍錯亂指揮不統一ヲ以テ前進シ其後端ニ達シタルトキハ殊ニ甚シトス

三、攻者ハ村落(森林)ヲ防禦スル守者ノ利ヲ享有スルコトヲ得即チ其縁端内ニ軍隊ヲ掩蔽シ得ルコト掩蔽物ノ周縁ヲ據點ト爲シ得ルコト是レナリ

四、攻者ハ軍隊ヲ掩蔽シ得ルヲ以テ之ヲ利用シ隨意ニ攻撃方向ヲ選擇シ得ルノ利ヲ有ス又不同意ニ側方ニ現出スルコトヲ得

○以上述ヘタル利害ヲ判斷スレハ大ナル住民地及森林ノ出口ニ對スル防禦ニ就テハ次ノ如キ決定ヲ與ヘ得ヘシ

決戰ノ目的ヨリモ寧ロ持久戰ニ適ス若決戰ヲ期スルトキハ森林ノ前方ニ防禦線ヲ選定スルヲ

可トス

(乙) 守者ノ戦闘動作

- 一、何レノ場合ニ論ナク守者ノ砲兵ハ敵ノ猛烈ナル歩兵火ヲ避ケ得ル如ク陣地ヲ占領スヘシ
- 二、攻者森林(村落)ノ側方ニ放列ヲ布置スル願慮アルトキハ之カ妨害ヲ爲スヘキ部署ヲ定ムルヲ要ス斯ノ如キ場合ニハ攻者ノ砲兵ハ局地ノ周縁ニ在ル歩兵ノ援助ヲ受クルコト難キヲ常トス故ニ守者ノ騎兵ハ其運動間之ヲ奇襲シ得ル機會多シ
- 三、歩兵ハ局地ノ周縁ヨリ小銃ノ良射界(通常中距離)丈ケ後退シテ陣地ヲ占領シ直ニ至大ノ火力ヲ發展シ得ル如ク準備シアルヘシ
- 四、歩砲兵相協力シ攻者ヲシテ局地外ニ立脚地ヲ得セシメサル如ク努ムヘシ

(丙) 攻者ノ戦闘動作

- 一、先ツ其前衛若ハ第一線歩兵ヲシテ堅固ニ彼端ノ周縁ヲ占領セシメ以テ猛烈ニ敵(爲シ得レハ敵ノ砲兵)ヲ射撃セシムヘシ

- 二、敵若小銃ノ有効射程外ニ在ルトキハ散兵線ハ直ニ縁端外ニ出テ苟モ利用シ得ヘキ掩蔽物ニ據リテ敵ニ近接シ戦闘ヲ挑ンテ以テ其射撃ノ出口ニ集注スルヲ防クヘシ
- 三、攻者ハ其砲兵ヲシテ速ニ放列ヲ布置セシムルコトニ注意スヘシ此陣地ハ先ツ之ヲ正面前ニ求ムルヲ通常トス若此陣地アラサルトキハ敵ノ有効射程外ニ於テ局地ノ側方ニ出テ然ル後陣地ヲ占領スヘシ

斯ノ如ク側方ニ放列ヲ布置スルトキハ豫メ騎兵ヲ以テ側面前ノ土地ヲ搜索スルカ或ハ歩兵ヲシテ先ツ斯ル地形ヲ占領セシメ以テ敵ノ奇襲ニ對シ砲兵ヲ掩護スルヲ要ス  
地形上側方ニモ放列ヲ布置シ能ハサルトキハ攻者ノ爲ニハ頗ル不利ノ状態ニ在ルモノニシテ敵兵我攻撃歩兵ノ火力ノ爲ニ制壓セラレルカ或ハ此方向ニ其火力ヲ吸引セラレ砲兵ノ進出ヲ射撃シ得サルニ至ルヲ待ツノ外ナジ斯ノ如キ形勢ニ在リテハ砲兵ハ到底最初ヨリ歩兵ノ攻撃ヲ援助シ能ハサルモノトス

- 四、騎兵ハ成ルヘク林外ニ動作スヘシ然レトモ遠ク迂回シテ其戦闘ニ參與シ或ハ追撃ニ加ハリ

難キ虞アルトキハ捷路ヲ經テ森林(村落)ヨリ進出スルノ外策ナシ但シ其進出ニ方リテハ成ルヘク敵ニ遠キ地點ヨリシ迅速ナル運動ヲ展開シ敵騎ノ爲ニ先制ノ利ヲ占メラレテ襲撃セラルルコトアルヘカラス

五、歩兵ノ主力ハ森林(村落)ヨリ進出スルニハ其正面ヨリセスシテ何レカノ一側面ニ於テスルヲ通側トス是レ其死傷ヲ減シ且敵ノ一側面ニ動作シ其退路ニ迫ルノ利アレハナリ

此部隊ハ其出口ニ濶大ノ正面豊多ノ散兵ヲ配置シ先ツ隱蔽シテ隊勢ヲ整ヘ其援隊ハ最初三四百歩ノ距離ヲ取リテ之ニ續行シ戰鬪ノ進捗ニ伴ヒ其距離ヲ短縮ス

後方ニ在ル密集部隊ハ道路或ハ林空等ノ如キ地區ヲ經由シテ進出スルヲ常トス故ニ第一線敵火ヲ己レニ誘致シタル等ノ爲猛烈ナル敵火ヲ受ケサル場合ニアラサレハ林外ニ進出スヘカラス就中豫備隊ハ隱蔽シテ後方ニ留マリ以テ敵ノ村落(森林)ニ向ヒ逆襲シ來ルニ備ヘ又我カ本隊一側ヨリ進出シ得レハ正面ヨリ決然突出スルノ準備ヲ爲シテ待ツヘシ

攻者既ニ村落(森林)内ニ於テ劇戰ヲ爲シタル後ナルトキハ森林(村落)外ニ敵ノ收容陣地ア

ルヲ發見セハ濫リニ其最前線ニ在ル混亂セル兵ヲシテ規律ヲ破リ敵ヲ追撃シテ縁端外ニ突出セシムヘカラス先ツ堅ク縁端ヲ占領シテ其兵ヲ此ニ集合シ而シテ背後ニ在ル部隊中整頓セル者及騎兵、砲兵(其前已ニ派遣セラレアラサルトキ)ヲ側方ニ派遣シ危殆少ナキ出口ヲ求メテ此所ヨリ死傷ヲ減シテ守兵ニ迫リ巧ニ機動シテ之ヲ陣地ヨリ驅逐スヘシ

六、二三縦隊相離隔シテ前進スルニ方リ斥候ヲ以テ連絡ヲ保持スルコト能ハサルトキハ其中間ニ遞騎線ヲ設クルヲ可トス

(例)千八百六十六年 Blumenthalノ戰鬪ニ於テ Bose 旅團ノ迂回ノ際良ク設置セラレタル遞騎線ノ如シ但シ此遞騎線ハ Vuitenberg 旅團四大隊ノ前進ノ爲ニ破ラレタルハ皆知ル所ナリ

## 第六章 市街戰



○市街内部ノ戦闘ノ起因ニ就テハ已ニ總論ニ於テ述ヘタルカ如シ  
 ○街衢ヲ閉鎖スルニハ街道ノ交叉點及屈折點ニ阻絶ヲ設置スルヲ有利トス  
 ○阻絶及其他ノ防禦工事ニ對スル攻撃ヲ分チテ準規攻撃及逞威攻撃ノ二種トス  
 準規攻撃(要塞)ニ在リテハ攻者ハ家屋及庭園ヲ破壊シテ街衢ノ一側ヲ貫通シ以テ阻絶其他ノ防禦工事ニ對位スル家屋ニ達スル逐次前進ス  
 逞威攻撃(亂)ニ在リテハ攻者ハ街道上ヨリ直接ニ阻絶及其他ノ防禦工事ニ向ヒテ突進ス  
 阻絶攻撃ノ決勝ハ阻絶近傍ニ在ル家屋ヲ占領シテ阻絶ヲ掣肘スルニ在リ  
 阻絶ニ對スル破撃ハ特ニ効力多キモノトス然レトモ市街内ニ於テハ砲兵ノ使用困難ニシテ概テ道路上ニ一二門ヲ備ヘ道路ヲ縱射スルニ過キス結局市街内部ノ戦闘ハ銃劍ヲ振ヒ威力ヲ以テ勝敗ヲ決スルノ外策ナカルヘシ  
 全都會舉ツテ蜂起スルモノニ對シテハ左ノ要領ニ從ヒ攻撃スヘシ  
 一、騎兵ハ都會ヲ圍繞シ數箇ノ歩兵大隊及若干門ノ砲ヨリ成ル縱隊ト攻撃ヲ爲スヘキ各街路

ニ前進ス若街衢廣濶ニシテ直線ナルトキハ砲兵ノ助力ニ依リテ迅速ニ前進スルコトヲ努ムヘシ

二、強大豫備隊ハ首街路ニ由リテ跟隨スヘシ

三、都會ノ一管區ノミ蜂起スルカ或ハ蜂起民ノ據地大ナル公立建築物等ニ限ルトキハ其糧通ヲ絶ツヘシ又建築物ノ損害ヲ避ケンカ爲砲撃スルヲ得サルトキハ夜ニ乘シテ不意ノ襲撃ヲ爲シ以テ之ニ侵入スルコトヲ努ムヘシ

## 第七章 日、獨、佛、英ノ規定

### 第一節 日ノ規定

歩兵操典ヲ見ルヘシ

## 第二節 獨ノ規定

(甲)獨乙操典之部

(獨、操、四百三十四)住民地ヲ防禦線内ニ入ルルカ又ハ軍隊ノ掩護陣地ノ爲利用スルカハ其位置及建築法ニ關スルモノトス

鞏強ニ防禦セル堅牢ナル住民地ハ戰鬥ノ焦點タルコトヲ得ヘシ然レトモ住民地其者ニ過大ノ兵力ヲ集用スルヲ避クヘシ

(獨、操、四百三十五)火線ヲ住民地ノ縁端ニ置カサルコト屢々アリ時間ノ餘裕アルトキハ防禦工事ヲ施スヘシ又重層射撃ハ有効ナルコト多キモノトス

(獨、操、四百三十六)敵若住民地ニ侵入スルトキハ各地區及各大厦ヲ防禦スヘシ豫備隊ハ侵入セル敵ヲ白兵ヲ以テ驅逐スヘシ

(獨、操、四百三十七)攻者ハ當初ヨリ住民地ノ側方ニモ亦大ナル部隊ヲ前進セシムルヲ可トス砲兵ハ十分進撃ヲ準備シ曲射ヲ爲スヲ可トス

(獨、操、四百三十八)住民地ノ縁端ヲ占領シタルトキハ侵入セル部隊ハ敵ニ尾シ白兵ヲ以テ彼側ノ邊緣迄道路ヲ開クヘシ該部隊ハ此際又街道ノ外尙園圃及内庭ヲ經テ前進セサルヘカラス敵ノ尙保持スル大厦小部隊ヲ出シテ之ヲ占領スヘシ

(獨、操、四百三十九)住民地ノ彼側ノ邊緣ニ達スルヤ直ニ防禦ノ設備ニ着手セサルヘカラス若干部隊カ追撃ニ熱心ナル餘リ猛進スルハ之ヲ防止セサルヘカラス

(獨、操、四百四十)森林戰ニ在リテハ森林大ナルニ從ヒ連絡ノ維持益々著シク困難ナルモノニシテ道路及細徑ハ方向ヲ知ルヲ容易ナラシメ而シテ稠密林ニ在リテハ該通路及細徑ニアラサレハ密集部隊ヲ前進セシムルヲ得ス

(獨、操、四百四十一)守者ハ成ルヘク識別シ易キ林縁ニ散兵ヲ展開スルヲ避ケサルヘカラス守者ハ疎散ノ森林ニ在リテハ樹木ニ依リ其射撃力ヲ妨害セラレサル丈ケ林縁ノ後方ニ在ルヘシ

守者ハ又散兵ヲシテ林縁ノ前方ニ於テ布陣セシムルコトヲ得ヘシ  
 攻者森林中ニ侵入スルヲ得タルトキハ守者ハ特ニ攻者ノ兩側面ニ對シ突撃ヲ行ヒ之ヲ驅逐ス  
 ルヲ圖ラサルヘカラス兩側ニ對スル此攻撃ハ森林内ニ於ケル戰鬪ノ際強力ニ續行スヘキモノ  
 トス

林空大ナルトキハ地區毎ニ強力ナル防禦ヲ容易ナラシム

(獨、操、四百四十二) 攻者ハ主トシテ森林ノ突出部分ヲ攻撃スヘキモノトス  
 攻者森林ニ侵入シタルトキハ直ニ秩序及區分ヲ恢復スルハ必要ノ事トス爾後ノ前進ハ過廣ノ  
 正面ヲ避ケテ緻密ノ散兵線ヲ以テシ密集ノ援隊ヲ近ク之ニ續行セシメ而シテ散兵線ノ兩翼ハ  
 梯形ト成レル豫備隊ヲ以テ之ヲ掩護スヘシ

深サ過大ナラサル森林ニ在リテハ其彼側端迄突撃スヘシ

(乙) 獨乙築城教範草案ノ部

(獨、築、草十二) 陣地ノ近傍殊ニハ其兩翼森林其他通視シ難キ地形ヲ有スルハ不利ナリ而モ攻

者カ其砲兵ヲ展開スルニ當リ現地ノ特性ニ依リテ制限セラルルハ有利ナリトス又自軍ノ射界  
 良好ニシテ且地形ニ依リ敵ノ砲兵陣地ヨリスル視線ヲ避クルヲ得ヘキ陣地ハ有利ナリ(一般  
 ノ原則)

(獨、築、草、二十三ノ三) (前略) 識別シ易キ縁端ニ依リテ敵ノ砲兵ニ有利ナル目標ヲ呈スヘキ  
 地物即チ村落田廬森林ニ在リテハ其前方ニ陣地ヲ占メ而シテ地物其者ハ單ニ豫備隊掩護ノ用  
 ニ供スルヲ可トス(一般ノ原則)

(獨、築、草、三十三ノ一) 例ヘハ兵站線ニ於ケルカ如ク成ルヘク少數ノ兵力ヲ用ヒ砲兵ヲ有セ  
 サル敵ノ奇襲ニ對シ單ニ一地ノ占領ヲ確實ナラシムヘキニ方リテハ障礙物ヲ周圍ニ設ケ且高  
 キ胸牆ヲ有スル閉鎖セル支撐點ハ用ヒテ價值アリト牆壁及家屋ノ如キモ亦有利ニ利用セラル  
 ルヲ得ヘシ(一般ノ原則)

(獨、築、草、六十三) 散兵壕及掩壕ヲ連合シテ以テ四方ニ對シ防禦力ヲ有スル支撐點ヲ造ルヲ  
 得支撐點ハ守兵ニ更ニ大ナル安全ヲ與フルモノトス殊ニ周スラニ障礙物ヲ以テシ敵ノ奇襲ヲ

阻碍スルモノニアリテハ最モ然リトス(支撐點)

(獨、築、草、六十四) 支撐點ハ重要ナル地點ヲ固守スルニ用ヒ敵ニ依リテ脅威セララルル地點ノ後援ト爲リ又ハ微弱ナル兵力ヲ以テ土地ノ占領ヲ確實ナラシムルノ用ニ供ス其守兵トシテハ通常一中隊以下ノ兵ヲ用ユルコトアルヘカラス(支撐點)

(獨、築、草、六十七) 生籬ハ主トシテ遮蔽ニ適用スヘシ十分密ニシテ高キ生籬ハ鐵線ヲ編ミ込ミテ之ヲ強固ナラシメハ能ク良好ノ障碍物タルヲ得(所在掩護物ノ應用)

(獨、築、草、六十八) 牆壁ハ米五〇ノ厚サヲ有スルモノハ銃彈ヲ防キ米二五ノ厚サナレハ又能ク榴彈ノ彈子及破片ヲ防クモノタリ凡テ牆壁ハ土ヲ堆積シテ更ニ強固ナラシムルヲ得「高キ牆壁ニハ銃眼ヲ設クヘシ銃眼ハ外部ヲ狹クシテ高低不定ノ位置ニ之ヲ設ケ能ク命中彈ノ威力ニ暴露スルコト少ナキヲ得」十分ナル高サヲ有スル牆壁ニ在リテハ數階ノ火線ヲ重ネテ設クルヲ得ヘシ(所在掩護物ノ應用)。

(獨、築、草、六十九ノ一) 建物ノ防禦編成ヲ行フニ方リテハ凡テ點火シ易キ物件ハ之ヲ除去シ

且水ヲ盛リタル容器ヲ準備シ置クヘシ「窓口ハ散兵カ窓床ヲ超エテ射撃シ得ル如ク構成セラレ戸扉及門ハ支保物ヲ設ケテ小銃射撃ニ對シ安全ナラシメ且銃眼ヲ設ケ更ニ時間ノ餘裕アラハ圍壁ニ銃眼ヲ穿ツヘシ凡テ射撃又ハ交通ノ用ニ供セサル孔口ハ之ヲ填塞セサルヘカラス(所在掩護物ノ應用)

(獨、築、草、七十) 田廬製造所停車場ニ在リテハ先ツ第一着ニ防禦力ヲ有スル外圍ヲ作ルヲ要ス(所在掩護物ノ應用)

(獨、築、草、七十一) 村落ハ之ヲ守備シ又ハ防禦ノ編成ヲ行フカ爲大隊竝ニ中隊ノ地區ニ區分セラル但シ此等ノ地區ノ境界ハ村落ノ主タル出入口ト同一ナルヘカラス(所在掩護物ノ應用)

(獨、築、草、七十二) 其各地區内ニ在リテハ防禦線ニ沿ヒ又後方ヘノ連絡(道標)及援隊ノ掩護ニ關シ顧慮スルヲ要ス豫備隊ハ村内ノ編成ヲ行ヒ内部ノ地障ノ防禦ヲ準備シ而シテ便宜ノ後方出口ノ事ニ注意ス複廓(第七十四參照)ハ其守備ニ任スヘキ部隊ニ依リテ防禦工事ヲ施サル(所在掩護物ノ應用)

(獨、築、草、七十三) 林縁ノ防禦編成ハ第六十六乃至第七十(自註。溝壕、凹道、埋防、生籬、塙壁等防禦編成)ニ依リテ行ハル但其空隙ハ散兵線及障礙物ヲ以テ閉塞スヘシ」道路ノ阻絶ニハ物品掲載ノ儘交叉セシメタル車輛ヲ用ヒ土又ハ石礫ヲ盛リタル樽ヲ配置シ或ハ更ニ抵抗力ヲ十分ナラシムルニハ敷石ヲ起シ石ヲ積ミ上ケ而シテ之ニ土ヲ掩ヒテ構築スヘシ(後略)」(所在掩護物ノ應用)」。

(獨、築、草、七十四) 複廓ハ村内ニ侵入シタル敵ノ前進ヲ繼續スルヲ妨ケ而シテ村落ノ挽回ヲ容易ナラシムヘキモノトス複廓ニハ開濶ナル場所又ハ街道交叉點ニ於ケル堅牢ナル建物或ハ田廬ヲ選定シテ十分ノ工事ヲ施スヘシ(所在掩護物ノ應用)」。

(獨、築、草、七十五) 村内ニ於ケル第二ノ防禦線ハ防禦正面ニ平行シテ村落ニ貫通スル廣キ街道、開濶ナル場所或ハ小河アルニアラサレハ必要ヲ生スルコトナシ但シ其編成ハ村落前段ノ編成ト大同小異ニシテ唯數多ノ道路ヲ開放シ置クヘキ差異アルノミ(所在掩護物ノ應用)」。

(獨、築、草、七十六) 少數ノ守兵カ敵ノ急襲ヲ受クルノ虞アルカ或ハ持久ノ抵抗ヲ行フヘキ場合ニ在リテハ防禦ハ村端ヨリモ堅牢ナル建築物内ニ設クルヲ可トスヘシ」此場合ニ在リテハ

建物ノ防禦力ハ爲シ得ル限り高度ニ寺セシメ以テ全然包圍セラレタルトキニ在リテモ尙能ク戰鬥ヲ繼續スルヲ得セシメサルヘカラス(所在掩護物ノ應用)」。

(獨、築、草、七十七) 市街ノ防禦編成ニ關シテハ亦村落ノ爲ニ掲ケタル趣意ヲ適用スヘシ(所在掩護物ノ應用)」。

(獨、築、草、七十八) 森林ハ敵ノ視線ヲ防クモノナレトモ其疎密ノ度及下叢ノ狀況如何ニ依リテハ又自己ノ運動及戰鬥ヲ困難ナラシム故ニ之ニ防禦編成ヲ行フニ方リテハ先ツ第一ニ道路ヲ完全ナラシメ且之ヲ標示スルヲ必要トス(所在掩護物ノ應用)」。

(獨、築、草、七十九) 凡テ森林ニ在リテハ陣地ヲ森林内ニ退戻セシムルヲ得レトモ林端密ナルトキハ多クハ之ヲ其前方ニ出ササルヘカラス(所在掩護物ノ應用)」。

(獨、築、草、八十) 塙壁、生籬、柵等ハ其前方ニ壕ヲ設ケテ之ヲ強固ナラシム叢林ハ不規則ニ鐵線ヲ引キ渡シテ以テ交通ヲ難カラシムヘシ(障礙物ノ部)」。

(獨、築、草、八十六) 樹幹鹿柴及樹枝鹿柴ハ稀ニ敵眼ヲ免ルルヲ得ルノミ故ニ防禦工事ノ直接

(獨、築、草、七十三) 林縁ノ防禦編成ハ第六十六乃至第七十(自註。溝壕、凹道、埋防、生籬、塙壁等防禦編成)ニ依リテ行ハル但其空隙ハ散兵線及障礙物ヲ以テ閉塞スヘシ」道路ノ阻絶ニハ物品掲載ノ儘交叉セシメタル車輛ヲ用ヒ土又ハ石礫ヲ盛りタル樽ヲ配置シ或ハ更ニ抵抗力ヲ十分ナラシムルニハ敷石ヲ起シ石ヲ積ミ上ケ而シテ之ニ土ヲ掩ヒテ構築スヘシ(後略)(所在掩護物ノ應用)。

(獨、築、草、七十四) 複廓ハ村内ニ侵入シタル敵ノ前進ヲ繼續スルヲ妨ケ而シテ村落ノ挽回ヲ容易ナラシムヘキモノトス複廓ニハ開濶ナル場所又ハ街道交叉點ニ於ケル堅牢ナル建物或ハ田廬ヲ選定シテ十分ノ工事ヲ施スヘシ(所在掩護物ノ應用)。

(獨、築、草、七十五) 村内ニ於ケル第二ノ防禦線ハ防禦正面ニ平行シテ村落ニ貫通スル廣キ街道、開濶ナル場所或ハ小河アルニアラサレハ必要ヲ生スルコトナシ但シ其編成ハ村落前段ノ編成ト大同小異ニシテ唯數多ノ道路ヲ開放シ置クヘキ差異アルノミ(所在掩護物ノ應用)

(獨、築、草、七十六) 少數ノ守兵カ敵ノ急襲ヲ受クルノ虞アルカ或ハ持久ノ抵抗ヲ行フヘキ場合ニ在リテハ防禦ハ村端ヨリモ堅牢ナル建築物内ニ設クルヲ可トスヘシ」此場合ニ在リテハ

建物ノ防禦力ハ爲シ得ル限り高度ニ寺セシメ以テ全然包圍セラレタルトキニ在リテモ尙能ク戦闘ヲ繼續スルヲ得セシメサルヘカラス(所在掩護物ノ應用)

(獨、築、草、七十七) 市街ノ防禦編成ニ關シテハ亦村落ノ爲ニ掲ケタル趣意ヲ適用スヘシ(所在掩護物ノ應用)

(獨、築、草、七十八) 森林ハ敵ノ視線ヲ防クモノナレトモ其疎密ノ度及下叢ノ狀況如何ニ依リテハ又自己ノ運動及戦闘ヲ困難ナラシム故ニ之ニ防禦編成ヲ行フニ方リテハ先ツ第一ニ道路ヲ完全ナラシメ且之ヲ標示スルヲ必要トス(所在掩護物ノ應用)

(獨、築、草、七十九) 凡テ森林ニ在リテハ陣地ヲ森林内ニ退戻セシムルヲ得レトモ林端密ナルトキハ多クハ之ヲ其前方ニ出ササルヘカラス(所在掩護物ノ應用)。

(獨、築、草八十) 塙壁、生籬、柵等ハ其前方ニ壕ヲ設ケテ之ヲ強固ナラシム叢林ハ不規則ニ鐵線ヲ引キ渡シテ以テ交通ヲ難カラシムヘシ(障礙物ノ部)

(獨、築、草、八十六) 樹幹鹿柴及樹枝鹿柴ハ稀ニ敵眼ヲ免ルルヲ得ルノミ故ニ防禦工事ノ直接

警戒ノ爲ニ用ユルハ亦稀ナリトス然レトモ林端隙又ハ前地ノ内敵ニ掩護物ヲ呈スル部分ヲ阻絶スルニハ適當ナリトス(障礙物ノ部)

### 第三節 塙ノ規定

(塙、操、六百五)森林及高キ耕作物中ニ於テハ通視及運動困難ナルカ故ニ戦闘隊形及軍隊ノ動作又之ニ適スル如ク區處スルヲ要ス」戰鬥ハ殆ト常ニ攻撃方法ニ依リテ指導セラルルモノトス」距離及間隔ヲ短縮シ各中隊ヲ集結シ且敵ノ急襲ヲ豫防シ連繫ヲ保持シ上級指揮官ノ干與ヲ便ナラシムル爲各方面ニ向ヒテ搜索及連絡ノ處置ヲ爲シ豫備隊ハ梯隊狀ニ翼後ニ位置セシムルヲ適當トス」基準部隊ヲ設ケ適當ニ其方向ヲ規定スルコト必要ナリ行進正面ニ平行セル地區地物ハ一旦失ヒタル連繫ヲ回復スル爲之ヲ利用スヘキモノトス

(塙、操、六百六)前進ハ緩徐ニシテ靜肅ナルヲ要ス通視愈々困難ナルニ從ヒ益々火戰ノ時間ヲ

短縮シ直ニ突撃ニ移ルヲ可トス下級指揮官ノ獨斷ハ此場合ニ於テ極テ必要ナリトス

### 第三節 佛ノ規定

(佛、操、二百七十七)前畧、村落森林及隘路等ニ於テスル戰鬥ニ關シテハ若干特殊ノ性質ヲ有スルヲ以テ茲ニ之ヲ指示スルノ要アリ即チ是等ノ戰鬥ニ共通スル性質ヲ舉クレハ出入口ノ重要ナル事ニシテ各自其周圍ニ對シ全力ヲ集注セサルヘカラサルコト是ナリ

(佛、操、二百七十八)住民地、村落ノ攻撃ニ任シタル部隊ニシテ緣端ノ其地點ニ到着スルヤ直ニ其處ニ於テ強固ニ駐屯シタル後局地ノ周圍ニ展開スルコトニ努力ス而シテ各家屋ヲ逐次ニ奪取シテ其占領ヲ遲緩ナカラシムル爲速ニ反對ノ緣端ニ到着スルコトニ努力シ寡兵ヲ用ヒテ局地ノ内部ニ於テ戰鬥ヲ爲サシメ兵力ノ大部ヲ展開シテ進出口ニ達スルコトヲ努ムヘシ」局地ノ内部ニ於テ戰鬥ニ從事スル部隊ハ敵ノ防禦シアル家屋ヲ占領シ圍柵ヲ破壊シ若ハ之ニ

防禦工事ヲ施シテ敵ノ逆襲ニ備ヘ他ノ部隊ハ進出口ヲ奪取シテ固守シテ回復攻撃ニ備ヘシム

(佛、操、二百七十九) 歩兵部隊ニシテ村落ノ防禦ニ任シタルトキ戦闘ニ参加スヘキ部隊及増加隊ハ單ニ緣端ノ前方及局地ノ内部ニ配置シ他ノ部隊ハ一般ニ側面ノ外方及後方ニ位置シ以テ逆襲ヲ表示シ及好機ニ於テ再ヒ攻勢ヲ取り得ル如クシ攻者ノ其運動ヲ表示スル時機迄掩蔽ヲ繼續ス而シテ特ニ將校中ヨリ選抜スルヲ有利ト爲セル若干ノ觀測手ハ前地ヲ監視シ敵ノ近接ヲ記號ス」守者ハ爲シ得ル限り緣端ヲ保持スルコトヲ努ム攻者ノ甚シク近接シ來リタルトキハ局地ノ外方ニ配備シタル軍隊ヲシテ逆襲セシム」緣端ノ一點敵ノ手中ニ陥リタルトキ其附近ニ位置シタル部隊ハ全力ヲ竭クシテ之ヲ攻撃シ其回復ニ努力ス若是等ノ攻撃奏功セサル場合ニ於テハ局地内ニ準備シタル防禦線ニ依リ防禦ヲ繼續シ機動部隊ハ側面ニ對シ回復攻撃ヲ實施ス其他攻者ニシテ守者ノ努力ニ拘ラス遂ニ局地ノ進出口ヲ占領スルニ至ラハ各自相努力シテ自己ノ再ヒ攻勢ニ復スルヲ得ルニ至ル時機迄攻者ヲ進出セシメサルコトニ銳意ス

(佛、操、二百八十) 森林<sup>〇</sup> 森林ノ攻撃ハ一般ニ突角ニ對シ之ヲ指向ス林縁ノ一點ニ突入シ得タル部隊ハ自己ノ秩序ヲ回復スルニ至ルヤ直ニ森林内ニ挺進シ活潑ニ前方ニ推進スル爲所在道路小徑ヲ悉ク利用シテ守者ニ追迫シ以テ守者ヲシテ新陣地ニ據ルノ邊ナカラシムル如クス」若森林ノ通過容易ナルトキ之ニ突入シ得タル部隊ハ増加隊ヲ隨ヘ兩側面ヲ掩護シ猛烈果敢ニ前進ス密林ニ對シテハ小縱隊ヲ形成シ互ニ相連繫シテ戒心シツツ前進ス」

守者ニシテ其内線ニ於テ再ヒ編成シタルトキ攻者ハ之ニ逼迫シテ攻撃ヲ斷行シ之ニ依リ森林ノ進出ヲ占領スルニ至ル迄前進ヲ續行ス」後方ニ控置シタル軍隊ニシテ森林ヲ迂回スルトキハ攻撃奏功シ及進出口ヲ全ク占領ニ方リテハ最モ有効ニ協同スヘシ

(佛、操、二百八十一) 森林ノ守備ニ任シタル部隊ハ成シ得ル限り最モ長ク林縁ヲ保持スルコトニ努力セサルヘカラス若攻者ニシテ林縁ノ一點ニ突入シタルトキハ守備隊ハ之ヲ突撃シ敵ノ不安ト擾亂トニ乘シテ其兩側面ノ攻撃ヲ實施ス森林中ニ於テ側面攻撃ヲ反復スルトキハ林縁ヲ敵ニ委棄シタル場合ト雖敵ノ退却ヲ誘致スルヲ得此場合ニ於テ各自ノ努力スヘキモノハ敵



ノ進出ヲ防遏シ之ニ依リテ其成功ヲ萎靡セシムルニ在リ

#### 第四節 英ノ規定

英國ハ千九百九年發布ノ野外要務令ニ於テ叢林戰ナル表題下ニ叢林蠻族ノ特性、縱隊ノ編組、行軍、前衛、側斥候、後衛休止間ノ警戒、幕營及露營間ノ注意、輜重幕營、輜重護送ノ欸目ヲ設ケ詳細ニ説述セリ是殖民地地方及人民ニ對シ之カ必要アル爲ナラン今左ニ其概要ヲ掲ケ

一、叢林地方ニ作戰スル軍隊ハ一列側面縱隊ヲ以テ運動セサルヘカラサルコト屢々アルヘキヲ以テ絶對的必要以上ノ大縱隊ヲ使用スヘカラサルコトハ不動ノ原則ナリトス又進路ノ選定ニ注意シ且十分斧鉞ヲ使用シ成ルヘク廣ク正面ノ隊形ヲ以テ運動スルコトニ極力努ムルヲ要

ス長大ナル行李ハ危險ヲ醸シ且疲勞及遲滯ノ原因ト爲ルヲ以テ兵力ヲ緊縮スルニ從ヒ益々可ナリトス

一、長キ縱隊ト爲ルヲ避クル爲屢々二道以上ヲ取り前進スルヲ必要トスルコトアリ斯ノ如キ場合ニハ屢々相互ノ交通ヲ保持スル能ハサルコトアルヲ以テ敵若我兵力ノ分散ヲ利用スルノ顧慮アルトキハ各梯隊ハ十分自衛シ得ルノ兵力ヲ有セサルヘカラヌ

一、敵ノ戰法ヲ知ルハ縱隊ノ兵力及編組ヲ定ムル爲最良ノ指針ナリ

一、膺懲隊ハ概テ山砲ヲ有スル歩兵ヨリ成ルモノトス騎兵及乘馬歩兵ノ動作シ得ル地方ニ在リテハ此兵種ノ存スルハ最モ蠻人ノ恐怖スル所ナリ砦柵外ニ於テ戰鬪スル敵ニ對シテハ機關銃ハ甚タ有効ナルモノトス而シテ如何ナル場合ニ於テモ凡ソ未開國人ニ對スルニハ機關銃ヲ以テ突然射撃ヲ開始スルトキハ敵ヲ震駭セシムルコトヲ得ルモノトス

一、行軍ノ部ニ於テ注意スヘキ規定下ノ如シ

縱隊ノ各部間ニ存スヘキ距離ハ一定スルヲ得密生セル叢林中ニ有リテハ成ルヘク集結シ

在ルコト緊要ナリ然ラサレハ敵兵縦隊ノ諸部間ニ侵入シテ害ヲ加フルコトアリ叢林稍々疎散ナル地方ニ在リテハ前衛ハ百碼若ハ其レ以上前方ニ位置スルヲ得ヘシ道路ハ旋回點ヲ有スルコト多ク且一定ノ方向ヲ有セサルコト多シ而シテ成ルヘク縦隊ノ各部ヲシテ其集結ヲ維持シ且成ルヘク行動ヲ一致セシムルニハ能ク其距離ノ閉縮ヲ保ツノ一法アルノミ

若叢林ノ性質之ヲ許シ且敵兵攻勢的戰法ヲ採用スルノ顧慮アルトキハ行軍路上ニ於テ本隊ノ採ルヘキ最良ノ隊形ハ伸縮自在ナル方陣トス

叢林戰ニ於テノ攻勢ヲ取ルノ必要ヲ過重視スルヲ得ス此攻勢動作ハ敵ト衝突セルニ際シ戰鬪部隊ノ輜重ヲ隨伴スル場合ニ於テハ殆ト行フヲ得サルモノトス如何ナル場合ニ於テモ爲シ得レハ縦隊ハ戰鬪開始前其車輛ヲ整頓シ且輜重ノ周圍ニハ埒柵ヲ設クルヲ要ス勇敢ナル搜索ヲ爲シ且土民ヲ巧ニ使用スルトキハ縦隊ノ攻撃ヲ行フニ十分ナル情報ヲ通常收得シ得ルモノトス

山砲ハ本隊ノ先頭ニ近ク位置セシムルヲ要ス行李護衛兵ハ行李若一時軍隊ノ他部ト分離スルコトアルモ其自衛ヲ爲スニ十分ナラサルヘカラス而シテ特ニ指命セラレタル將校ノ指揮下ニアラシムルヲ要ス

明治四十三年一月三十日印刷  
明治四十三年二月五日發行

著者兼  
發行

上田 賴三

東京市牛込區若松町百五十番地

印刷者

山田 三太郎

東京市芝區櫻川町十七番地

印刷所

山田 活版所

東京市芝區櫻川町十七番地

東京市牛込區若松町百五十番地(陸軍戸山學校前通り)

發行所

軍需商會

電話番町一四七一番  
發電器號(グン)振替貯金口座東京五四一六番

## ◎爲替金は振替貯金爲替に限る

●小爲替證書等にて御送金の際に紛失あるも調査行届がたし然るに振替貯金爲替は爲替料を要せず紛失の憂なく殊に其用紙裏面に通信文を記載するの便利あり本會の振替貯金口座番號は(東京第五四一六番)に有之候該用紙は各地何れの郵便局にても備付ある筈なり可成此便法を御利用相願度候(但金高の多少に拘らず登記料金二錢御加送のこと)

東京市牛込區若松町百五十番地(陸軍戸山學校前通り)

發行所 軍需會

電話番町一四七一番  
發電略號(グ)一六番  
振替貯金口座東京五四一六番

軍需會出版部發行

# 步兵操典衍義

全一冊

正價金四拾錢

郵税金六錢

四十三年一月下旬出版

改正步兵操典ハ簡明平易ノ文章ト語句トヲ用ヒラレアルヲ以テ之ヲ熟讀研究セハ毫モ質疑ノ起ルヘキ理ナシ從テ之ニ紛シキ私解ヲ施シ或ハ應用スヘキ例規ヲ作爲スルカ如キハ操典ノ本旨ヲ研究シ改正ノ眞味ヲ咀嚼スルハ正ニ必須ノ事タルヘシ

本書ハ此目的ニ依リ某將校カ二三後進者ノ爲メ操典ノ條項ヲ逐フテ精細ニ研究縷述セラレタル摘録ニシテ操典ノ研究上價值頗ル大ナルモノアルヲ以テ汎ク衆ト其利益ヲ頒タント欲シ切ニ其記録セラレタル手簿ヲ請フテ茲ニ之ヲ出版スルコトトセリ

希クハ弊商會ノ献身的微衷ノ存スル所ヲ察シ速ニ一讀アラシムコトヲ祈ル

軍需商會出版部發行

# 住民地及森林之戰鬥

上下全二冊豫約價 上卷 金四拾錢 下卷 金四拾錢 郵稅各金四錢宛

上卷一月發行 下卷二月發行

本書ハ該當有益ナル學者ノ編著ニシテ其内容ハ從來發刊ノ書籍ト異ニシテ頗ル詳細ニ住民地及森林ノ戰鬥ヲ論シタルモノニシテ秩序整然理論明晰加之引證確實眞ニ近來ノ好著ト爲ス苟モ住民地及森林ノ戰鬥ヲ研究セラレントスル各位ハ座右ニ一本ヲ備ヘラルルヲ希望ス

製本ハ頗ル美麗殊ニ上欄ニ空位ヲ存シ各位ノ記入ニ便トス  
目次概要左ニ (細目記載ヲ省略ス)  
上卷 ●第一章特性、用途及具備スベキ要件 ○第一節防禦上村落及森林ノ特性及用途 ○第二節村落ノ具備スベキ要件 ●第二章守者 ○第一節周縁、複郭、地障 ○第二節防禦ノ部署 ○第三節防禦ニ於ケル諸兵種ノ用法 ○第四節守者ノ兵力及區分 ●第三章 攻者 ○第一節攻撃ニ於ケル兵力區分及諸兵種ノ用法 ○第二節偵察及砲戰 ○第三節內部ノ戰鬥 ○第四節退却及追擊 ●第五章 迄ノ戰鬥 ○第二節線端ノ戰鬥 ○第三節內部ノ戰鬥 ●第六章 市街戰 ●第七章 日獨埃佛英ノ規定

## 豫約出版

軍需商會出版部發行

# 步兵戰術講義錄

壹冊ニ付豫約金貳拾五錢宛 郵稅金四錢宛

二月ニ第一卷ヲ發行シ爾後毎月一冊宛ヲ發行ス  
約十二冊ヲ以テ結了ノ豫定

本書ハ戰術家トシテ有名ナル某大家之著述ニシテ其ノ要ハ從來ノ著書トハ面目ヲ異ニシ步兵戰術ヲ詳論シ日本新操典及各國操典ヲ引用シ兼テ步兵ト關連セル各兵種ノ戰鬥法ニ論及シ以テ軍學研究ノ一端ニ備エントス讀者諸君ノ爲メ此末ノ資ト爲ラバ弊會ノ光榮トスル所ナリ

## 豫約出版

四十三年一月三日出版

# 步兵教育問答

全一册

正價金 貳拾錢  
郵税金 貳錢

兵卒ノ教育中最モ困難ナルモノハ野外教育ナリ而シテ其ノ中殊ニ須要ニシテ且至難ナルハ斥候及歩哨ノ教育ナラム本書ハ編者ガ多年ノ研究ト實驗トヲ筆ニシテ教育上ノ便ヲ計リ之ヲ問答體ニ説述セラレタルモノニシテ殊ニ特色トスル所ハ答解ノ凡テ談話的ナルニ在リ故ニ新兵係タル幹部諸君ハ勿論有志諸賢ノ參考書トシテ欠クベカラザル好同伴ナリト信ズ

四十三年二月上旬出版

# 步兵教育問答

全一册

正價金 貳拾錢  
郵税金 貳錢

(附リ距離測量教育)

野外ニ於ケル動作ノ教育中斥候歩哨ニ關スル著書ハ多々アリト雖モ未タ傳令使。連絡兵ニ關スルモノ少キハ甚タ遺憾トスル處ナリ  
本書ハ著者ガ多年教育ノ衝ニ當リ計畫實施セラレシ事項ヲ綿密ニ筆ニセラレシモノニシテ尙距離測量ノ教育ヲ始メ附録トシテ兵語。地區。地物ノ名稱。徵候。方位ニ關スル教育法ヲ問答體ニ記述セラレタルヲ以テ新兵係タル幹部諸君ハ勿論苟モ之ガ教育ニ從事セラレル諸士ノ一讀再讀スベキ最好書ナリ

四十三年十一月出版

# 改正步兵教練問答

全一册

正價金 貳拾錢  
郵税金 貳錢

本書ハ步兵教練ニ於テ教官タリ助教タリ。或ハ小隊長タリ分隊長タル下士上等兵諸士ノ爲メ改正步兵操典ニ就キ其任ヲ盡サル、ニ方リ直接最モ必要ナル條項ヲ問答體ニ記述シ以テ一ハ自習ノ用ニ供スルト共ニ一ハ操典研究ノ主眼點ヲ例示シタルモノナレハ下士上等兵諸士ハ勿論上ハ其教官タルベキ將校ヨリ下ハ下士上等兵候補者諸士ノ爲メ好參考書タルベシ

四十三年一月改訂第三版

# 下士教育手簿

全一册

正價金 貳拾錢  
郵税金 貳錢

●下士ニ教授スベキ事項并ニ程度ノ標準ヲ示シ有バ教官ノ勞ヲ煩ク特色アリ

●下士ニ學科試問ヲナスベキ問題作製ノ好同伴タリ

# 書本

●下士諸君ガ自己ノ職責ヲ諷クス爲メ知得スベキ學識ハ此一本ニテ得ラル

# ハ

●下士諸君ガ教官トナリテ上等兵以下ノ教育ヲナスニモ好同伴タリ

●時ト場所トヲ問ハズ教育ヲ實施シ得ル本手簿ノ意匠ヲ閱セヨ

●教育普及ナル特色ヲ有ス

●簡單明瞭ニ個人教育ニモ集團教育ニモ資ス

陸軍少將渡邊祺十郎閣下閣  
陸軍步兵大佐橋本勝太郎殿校訂  
陸軍工兵中佐松井庫之助殿校訂  
陸軍步兵少佐向西兵庫殿校訂  
陸軍步兵少佐渡邊壽殿校訂  
陸軍步兵大尉奧田昇殿編纂  
正價金壹圓四拾錢  
郵稅金拾貳錢

●訂野外要務私解  
全四冊壹部  
郵稅金拾貳錢

第一卷 正價金四拾錢 郵稅四錢  
第二卷 正價金四拾錢 郵稅四錢  
第三卷 正價金參拾錢 郵稅四錢  
第四卷 正價金參拾錢 郵稅四錢

本書ハ野外要務令ノ各條項ヲ逐ヒ明瞭ナル解釋ヲ與ヘラレタルモノニシテ本令ト相對照シテ研究スルニハ頗ル便利有益ノ書ナルコトハ既ニ大方諸士ノ了知セラル、所ナリ

陸軍大學校兵學教官陸軍工兵中佐山田陸榎殿著

●改訂應用帥兵術 全一冊 正價金七拾錢 郵稅金八錢

本書ハ著者ガ會テ陸軍大學校ニ於テ學生諸氏ニ應用戰術ヲ教授スルニ當テ記述セラレタルモノニ更ニ若干ノ增補ヲ加ヘラレタルモノニシテ獨立枝隊ニ於ケル軍隊ノ統帥法ヲ研究スルヲ主眼トシ殊ニ原則ト應用ヲ對照シテ詳細ニ說明ヲ加ヘタルモノナレハ青年將校諸氏ガ戰術研究ノ資料トシテ頗ル有益ノ參考書タルハ勿論特ニ陸軍大學校入學受験者ノ爲メニハ唯一ノ指針タルベシ

●改訂應用帥兵術 全一冊 正價金七拾錢 郵稅金八錢

本書第一版發行後編制ノ改正及野外要務令ノ改正發布アリ依テ著者ニ請ヒ本書中ニ於ケル部隊名稱及野外要務事項ノ說明並引用項目等總テ親切ナル改訂ヲ加ヘラレタル最良書ニシテ茲ニ第三版ヲ出版セリ

軍需商會編纂部著

●用兵問答 全三冊 各冊 正價金三十錢宛 郵稅金四錢宛

第一卷 諸戰鬪之部 第二卷 野外帥兵之部 第三卷 補助學之部

一、勞少ク時間少ク迅速容易ニ試驗ノ準備ヲ成シ得ヘシ士官學校生徒各位ニハ尤モ適切ナリ  
二、本書ハ受験ノ經驗ヲ與ヘ如何ナル問題ニ遭遇スルモ敢テ憾セサルノ自信力ヲ養成シ得ヘシ  
三、陸軍大學校、士官學校等ノ試驗問題ハ皆集收セラレアリ過去ノ試驗問題ヲ知り將來ノ問題ヲト知スルノ好材料ナリ

軍需商會編纂部著

●兵學研究資料 全三冊 各冊 正價金二十五錢宛 郵稅金四錢宛

●第一卷兵棋之部 ●第二卷圖上戰術之部 ●第三卷研究諸議題之部

一、諸般ノ想定情況換言スレハ戰術研究ニ必要ナル應用問題ヲ掲ケタリ而カモ此諸問題ハ諸兵家ノ作ヲ編纂セルモノニシテ諸兵家ニ就テ考究スルト同價値ナリ  
二、兵棋ノ一般方略及特別方略ハ如何ニ構成スヘキヤ又圖上戰術現地講話等ノ想定ハ如何ニ組立ツヘキヤ又遭遇戰、陣地戰、偵察戰等各種別ニ從ヒ之ヲ研究スルニハ如何ナル想定ニ基クヘキヤ本書ハ悉ク之ヲ指示セリ  
三、兵學研究上吾人ノ着意シ注意ヲ拂フヘキモノハ如何ナル件ナルカ、如何ナル方面ニ先ツ研鑽ノ針路ヲ取ルヘキカ本書ヲ編ケハ明瞭ナルヘシ

陸軍歩兵中佐隈部又雄殿著

# ●實際的歩兵射擊學

全一冊

正價金 五拾錢  
郵稅金 四錢

本書ハ當陸軍戸山學校戰術科教官タリシ隈部中佐殿ノ著書ニシテ其要領ハ歩兵科ノミナラス尙モ小銃射擊教育ニ任シ射擊指揮、戰術射擊並檢閱射撃ノ計畫實施講評成績審査、試驗射撃等ノ任ニ當ル將校ニ必要ナル射撃學ヲ實際的ニ了解シ易ク説明シ計算ヲ要スルモノハ一例々例式ヲ學ケテ之ヲ指示シ尙二三強國ノ最近射撃教範中ノ一部及個人ノ說ヲモ掲載シ比較研究ニ供セラレタルモノナリ  
其他附録トシテ現今我邦歩兵隊ニ多ク使用セラレテ居ル各種射撃器ノ構造使用法及測量ニ當リ注意スヘキ諸件ヲ説明シ尙ホ明細ナル附圖ヲ以テ說示シ器械使用ノ便ニ供セラレタルモノナリ

# ●戰術射擊擬習及實習

附錄共 全二冊

正價金 貳拾五錢  
郵稅金 貳錢

(携帶用寸珍本)

○目次左ニ  
一、戰術射擊擬習ト戰術演習トノ差異ヲ說キ戰術射擊擬習ノ主義ニ及ブ  
二、戰術射擊擬習ト實習トノ差異ヲ說キ此兩者ノ實施上ニ於ケル主義ニ及ブ  
三、戰術射擊ニ於テ研究スベキ範圍如何  
四、射撃指揮トハ何ヲ謂フカ  
五、戰術射擊計畫ニ就キ著意スベキ要點  
六、想定(戰況)ノ構成上著意スベキ要點  
七、指導法ニ就キ著意スベキ要點  
八、講評ニ當リ著眼スベキ要點  
九、効力判斷ヲナスニ當リ著眼スベキ要點  
十、効力判斷ノ一例  
同附錄戰術射擊用計算簿  
○使用法 ○三十年式歩兵銃効力表(三八銃ニ三〇年式彈ヲ用ヒタル時モ同シ) ○溫度ノ爲メ射程ノ増減 ○遠近減耗係數  
○公算命中的數  
本書ハ當路專門學者ノ數年間研究ノ結果戰術射撃ニ關スル主義根底ヲ詳細解説セラレタルモノナリ

# ●歩兵之射撃指揮

全一冊

正價金 參拾錢  
郵稅金 四錢

陸軍歩兵中佐岡本茂若殿  
陸軍歩兵少佐竹本治郎殿 合著  
陸軍歩兵大尉竹下範國殿

# ●改訂機關銃之戰術的用法

全一冊

正價金 四拾錢  
郵稅金 四錢

陸軍歩兵中佐岡本茂若殿校訂  
陸軍歩兵少佐竹本治郎殿校訂  
陸軍歩兵大尉竹下範國殿著

# ●歩兵機關銃教育方案

全一冊

正價金 四卅錢  
郵稅金 四錢

軍需商會編纂部著

# ●機關銃及取扱法問答

全一冊

正價金 貳拾錢  
郵稅金 貳錢

# ●露軍ニ於ケル機關砲ノ使用

全一冊

正價金 拾五錢  
郵稅金 貳錢

本書ハ實ニ露軍機關砲ノ操典ト稱スルモ可ナリ即チ砲ノ構造、馱載繫駕等ノ解説ハ之ヲ省略シ專ラ教練野外勤務並ニ掩蔽物築設等須要ノ事項ニ關シ普國某氏ノ著ヲ摘譯シ且ツ二十餘圖ヲ添附セリ彼我機關砲研究ノ爲メ頗ル有益ノ參考書タリ  
以上四種ハ相共ニ射照研究セハ頗ル有益ナル參考書タルハ敢テ多言ヲ待タス



陸軍歩兵少佐井上第五郎殿著

●訂正 再版 步兵夜間動作ノ教育

全一冊

正價金拾五錢  
郵税金貳錢

夜間ニ於ケル軍隊ノ諸行動ハ如何ニ重且大ナリシヤハ最近戰役ニ於テ既ニ大方諸士ノ親シク經驗セラレタル處ニシテ從テ此レカ教育ニ關シテハ最モ深大ナル研究ト巧妙ナル手段ヲ要スルヤ明ナリ氏ハ深ク茲ニ鑑ミラル、處アリ就中日夜研究ト巧大ニ斯道ニ關シ一般ノ針路トナル可キコトヲ策案セラレタリ就中先年本會ニ其製作ヲ命セラレ目下漸ク各隊ニ普カラントシツツアル井上式隱顯燈ハ頗ル精巧ヲ極ムト雖モ其應用法ニ至リテハ夜間ノ教育方法ト相待タルサルヘカヲサレモ多シ爲メニ之カ使用法ニ關スル質議ノ輻輳シ來リタルヲ以テ今回氏ニ請ヒ此レカ説明ヲ主トシ尙ホ加ルニ特ニ戰役ノ實驗上得ラレタル教育手段ヲ講述セラレタルモノナリ

軍需商會編纂部著

●夜間 戰鬪

全一冊

正價金貳拾五錢  
郵税金貳錢

本書ハ戰術研究ノ爲メ獨逸國著名ナル兵學者ノ嶄新著書ヲ骨幹トシテ著述セシ者ナリ

●斥候 長

全一冊

正價金參拾五錢  
郵税金四錢

本書ノ有名ナルハ最先讀者諸君ノ御了知アレバ喋々ノ辯ヲ待タス。此書ハ部數ニ限アリ御用ノ方ハ至急御購求アランコトヲ奉希上候

軍需商會出版部發行

●部 隊 戰 鬪

全四冊壹部逐卷發行

第一卷 步兵中隊戰鬪

既刊

正價金四拾錢  
郵税金四錢

第二卷 大隊戰鬪

既刊

正價金四拾錢  
郵税金四錢

第三卷 聯隊戰鬪

第四卷 旅團戰鬪

本書第一卷ハ操典ニ示セル中隊戰鬪ヲ基礎トシ散開戰鬪ノ原則ニ從ヒ中隊戰鬪動作ヲ説明シ殊ニ歐洲諸強國ノ砲兵ノ射法及彈丸ノ効力ニ基キ砲火ノ下ニ於ケル歩兵ノ動作并射擊指揮ヲ十分ニ攻究シアレハ下級指揮官ノ好指針タルヘシ、第二卷ハ大隊戰鬪、第三卷ハ聯隊戰鬪、第四卷ハ旅團戰鬪ニシテ何レモ操典ノ原則ヲ明確ニ説明シタルモノニシテ應用戰術ト相待ツテ大ニ戰術上ノ智識ヲ増進セシムルモノナリ

參謀次長 福島中將閣下題閱  
步兵第十八旅團長 仙波少將閣下序閱  
參謀本部第二部長 松石少將閣下題閱  
教育總監部 參謀柴大佐殿校閱

### ●軍精神教育之栞

本書ハ主トシテ新兵教育ニ從事スル青年將校ノ資料ニ供スルヲ目的トセルモノニシテ皇室ノ尊嚴國躰ヨリ延テ臣民ノ義務及軍隊及軍人ノ精神ヲ説キ加フルニ勅諭五ヶ條ニ區分セル例談ヲ掲ケアリ以テ下士卒ノ好同伴タルヲ得ヘシ

陸軍歩兵少佐 井上第五郎殿編纂

### ●下士精神訓戒集

本書ハ當時陸軍戸山學校ニ於テ其ノ教育ノ任ニ數年間從事セラレシ井上少佐殿ノ編纂ニシテ實際ニ適切ヲ穿テテ良書ナレハ中隊長ハ勿論新兵教育ノ任ニ當ル諸君ノ最モ好資料タリ

陸軍歩兵大尉 武川壽輔殿編纂

### ●軍精神修養訓

本書ニハ東西古今ノ格言、名將先哲ノ訓言、教歌、遺訓等ハ勿論精神修養ニ資スヘキ金言ハ卑近ナル俚諺等ニ至ル迄之ヲ收録セラレアルヲ以テ兵卒教育ノ資料トシテモ亦大ナル價值アルヲ信ス將校下士各位ハ勿論兵士諸君ハ速ニ本書ヲ坐右ニ備ヘ以テ軍人精神ノ修養ニ供セラレンコト是レ軍國ノ爲メ切ニ希望スル所ナリ

軍需商會編纂部著

### ●精神教育問答

本書ハ著者カ實驗ニ基キ教育上ノ便ヲ計リ之ヲ問答體ニ記述セラレタルモノトス故ニ各位ノ參考タルハ勿論之カ教授上直接至便ナル好同伴ナリ

參謀本部部員 三原中佐殿校訂  
參謀本部部員 黒澤少佐殿序文  
參謀本部出仕 山縣大尉殿著

全二冊 正價金 參拾錢  
郵稅金 四錢

全一冊 正價金 貳拾五錢  
郵稅金 四錢

全一冊 正價金 貳拾五錢  
郵稅金 四錢

上下全二冊 正價金 貳拾錢  
郵稅金 貳錢

軍需商會編纂部編纂

### ●陸軍大學校入學問題集

本書ハ明治二十二年以降四十年度ニ至ル問題ヲ各科目毎ニ區分シ研究者ノ便ヲ計リタルモノナリ

全一冊 正價金 貳拾錢  
郵稅金 貳錢

軍需商會編纂部編纂

### ●陸軍大學校入學試驗問題集

本書ハ明治四十一年度分ヲ掲出ス以下逐年發行ノ豫定ナリ

追録 第一集 正價金 參錢  
郵稅金 貳錢

軍需商會編纂部編纂

### ●陸軍大學校入學試驗數學問題答解

本書ハ明治二十二年以降四十一年度再審試驗ニ至ルマテノ數學問題答ヲ答解セルモノニシテ研究セラル、諸士ノ爲メニ好參考書タリ

全一冊 正價金 貳拾五錢  
郵稅金 貳錢

## 陸軍大學校入學試驗 好參考書



陸軍戸山學校戰術科御編輯

# 兵棋圖

- 奈良及郡山附近 金六圓一組
- 藤岡及兒玉町附近 金八圓一組
- 豐橋附近 金八圓一組
- 豐橋附近補足圖 金八圓一組
- 知立町附近 金八圓一組
- 加古川町附近 金八圓一組
- 軍需商會編纂部發行
- 轉換兵棋普通圖 金六圓一組
- 轉換兵棋普通圖 (但轉換兵棋普通圖貳組附屬) 金六圓一組
- 轉換兵棋普通圖 金五拾錢

前記轉換兵棋普通圖貳組ノ附屬ニテ  
 尙ホ不足ト認メラルル、ノ向ヘハ十  
 六面壹組ニ付正價金五十錢ノ割合ヲ  
 以テ貴需ニ應ダ

陸軍戸山學校戰術科御用品  
軍需商會出版部調製

# 兵棋隊標

- 新式兵棋隊標 正式ノ分 附屬品共 壹組
  - 新式兵棋隊標 甲種ノ分 同 金貳拾五圓
  - 從來之形兵棋隊標 附屬品共 同 金六圓
  - 新式兵棋隊標用略附屬品 同 金貳拾五圓
  - 携帶式應用隊標 明治四十二年十月發行 同 壹圓五拾錢
  - 天號 (地形圖ニ應用シ得ルモノ左ノ二種トス) 藍色、赤色共各一組 金參圓五拾錢宛
  - 地號 藍色、赤色共各一組 金貳圓五拾錢宛
- 但天號、地號ハ藍色、赤色等御入用品  
 ナ特ニ御指定ナキトキハ藍色ノ分ヲ  
 上納可仕儀ト豫メ御了承ヲ奉願上候

319

234

